

2022年度 一般社団法人 山口県社会福祉士会  
事業遂行状況の報告

2022年度事業計画に対応させ、2022年4月1日～2023年3月31日までの本会の運営及び事業の実施状況を報告する。

## 1. 組織の状況

会員の加入状況

【正会員】 2023年3月31日現在 695名（新入会員29名）

2022年3月31日現在 688名

【賛助会員】 2022年度賛助会員数 3法人，個人1名

## 2. 活動

### (1) 役員会等の開催報告

#### 1) 総会報告

第26回定時社員総会 2022年6月25日 山口県社会福祉会館

○議案事項

議案第1号 2021年度事業報告

議案第2号 2021年度収支決算

第27回定時社員総会 2023年3月25日

○議案事項

議案第1号 2023年度事業計画

議案第2号 2023年度収支予算

#### 2) 業務執行理事会報告

第1回業務執行理事会 2022年5月9日 オンライン会議

○協議事項

第1号協議事項 第1回通常理事会の審議・協議・報告事項について

第2回業務執行理事会 2022年8月16日 オンライン会議

○協議事項

第1号協議事項 第2回通常理事会の審議・協議・報告事項について

第3回業務執行理事会 2022年11月15日 オンライン会議

第2回総合企画部会に参画し、来年度の事業内容の検討

第4回業務執行理事会 2022年12月12日 オンライン会議

○協議事項

第1号協議事項 第3回通常理事会の審議・協議・報告事項について

第5回業務執行理事会 2023年1月30日 オンライン会議

○協議事項

第1号協議事項 第4回通常理事会の審議・協議・報告事項について

#### 3) 理事会報告

**第1回通常理事会** 2022年5月14日 オンライン会議

○議案事項

第1号議案 2021年度事業報告

第2号議案 2021年度決算報告

第3号議案 第26回定時社員総会の日時及び場所並びに議案事項

○協議事項

第1号協議事項 ブロック長選出方法について

第2号協議事項 新型コロナ対策感染予防対策の基本方針について

○報告連絡事項

第1号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告

第2号報告連絡 会員数状況及び変動の報告

第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告

第4号報告連絡 後援承諾の報告

第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告

第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告

第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告

第8号報告連絡 ブロック会員からの意見

第9号報告事項 ブロック長会議の報告

**第2回通常理事会** 2022年8月21日 オンライン会議

○議案事項

第1号議案 スーパービジョン実施規程案の制定について

第2号議案 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会協定書の締結について

第3号議案 子どもアドボカシー研究会への団体入会について

第4号議案 ネットワークリストの取り扱い変更について

第5号議案 会員専用ページ内情報を一般公開することについて

第6号議案 規程第13号「会員に対する支援の実施規程」の廃止について

第7号議案 当会発行物以外の発送について

○協議事項

第1号協議 メッセージ発信について

○報告連絡事項

第1号報告連絡 事業遂行状況の報告

第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告

第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告

第4号報告連絡 後援承諾の報告

第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告

第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告

第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告

第8号報告連絡 子ども権利擁護推進に係る事業の専任職員の採用

**第3回通常理事会** 2022年12月18日 オンライン会議

○議案事項

- 第1号議案 諸規程類の改正
- 第2号議案 スーパービジョン委員会の担当理事及び委員の選任
- 第3号議案 会員専用ページ内情報を一般公開することについて
- 第4号議案 パンフレット発行について

○協議事項

- 第1号協議 第一期中期計画の実施状況の評価及び次年度以降の計画について
- 第2号協議 第27回定時社員総会（3/27）の開催形式について

○報告連絡事項

- 第1号報告連絡 事業遂行状況の報告
- 第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告
- 第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告
- 第4号報告連絡 後援承諾の報告
- 第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告
- 第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告
- 第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告

**第4回通常理事会** 2023年2月4日 オンライン会議

○議案事項

- 第1号議案 2023年度事業計画
- 第2号議案 2023年度収支予算
- 第3号議案 諸規程類の改正
- 第4号議案 第27回定時社員総会の議案事項など
- 第5号議案 役員選出に係る選挙管理委員の任命

○報告連絡事項

- 第1号報告連絡 事業遂行状況の報告
- 第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告
- 第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告
- 第4号報告連絡 後援承諾の報告
- 第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告
- 第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告
- 第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告
- 第8号報告連絡 2023年度年間スケジュール
- 第9号報告連絡 2022年度事業報告及び収支決算

**4) 2021年度監査報告**

- 監査内容 2021年度事業報告・決算報告
- 開催日 2022年5月11日

- 開催方法 電磁的方法
- 監査人 大神尚子、佐々木啓太

### 5) ブロック長会議報告

- 開催日 2022年4月16日
- 開催場所 オンライン会議
- 内容

会員数の状況及び変動について、ブロック活動事業報告及び収支決算について、ブロック活動運営について(発送便について、Zoom ミーティングの使用、オリエンテーションの開催)、ブロック活動活性化に向けた意見交換会、総会の議決権行使の結果について、ブロック長の選出方法について、ブロック会員名簿について、ソーシャルワーカーデーについてなど

### 6) ブロック長&総合企画部担当理事合同会議報告

#### 第1回ブロック長&総合企画部担当理事合同会議

- 開催日 2022年11月19日
- 形式 オンライン会議
- 内容

来年度のブロック活動計画について、基礎研修 I のインタビュー課題におけるブロックの役割について、コロナ関連の行動制限の現状について、ブロック会員名簿の取り扱いについて、オンライン研修開催の手続きについて、事業計画と予算の提出について、ブロック活動の進捗状況の報告

## (2) 委託事業部

事業方針にもとづき、委託事業部は次の事業を行う。

#### ■委員会名：障害者権利擁護センター委員会

- 担当理事：服部恭弥
- 委員長：磯地美香
- 副委員長：石津育幸
- 委員：岡本英樹、伊藤孝司、平岡龍一郎、原田和夫、岡崎千恵美、河口鈴佳、  
荒川奈津枝、石川智子、森尾憲嗣

#### 【委員会設置目的】

社会福祉の援助を必要とする山口県民の生活と権利を擁護するため、障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うため、関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図る権利擁護等に関する事業を行う。

#### 【基本方針】

- 障害者虐待防止法の周知啓発を図る。
- 障害者虐待防止について、研修会、派遣活動等を通じて適切な支援を行う。

#### 【重点目標】

障害者虐待防止法の一層の周知啓発を図るとともに、市町虐待防止センターのニーズ把握等を通して活用しやすい関係性を構築していく。

2022 年度事業計画

2022 年度事業報告

<p>1. 利用者による障害者虐待に関する通報又は届出の受理</p>	<p><b>1. 山口県障害者権利擁護センターの設置</b>          本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。</p>
<p>2. 社会福祉士1名を配置し、障害者虐待を受けた障害者に関する各般の問題及び養護者に対する支援に関する相談対応又は関係機関の紹介</p>	<p><b>1. 山口県障害者権利擁護センターの設置</b>          本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。</p>
<p>3. 障害者虐待を受けた障害者及び養護者に対する支援のための情報提供、助言、関係機関との連絡調整その他援助</p>	<p><b>1. 山口県障害者権利擁護センターの設置</b>          本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。</p>
<p>4. 障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する情報収集、分析、及び提供並びに市町の事例検討会への専門的助言</p>	<p><b>1. 事例分析検討会のあり方検討</b>          虐待防止未然に向けた事例分析検討会のあり方について、現状の課題を整理しながら、今後の取り組み方法について検討を行った。</p>
<p>5. 障害者虐待防止・権利擁護研修の開催</p>	<p><b>1. 市町虐待防止センター職員対象に研修の実施</b>  <b>(1) 令和4年度障害者虐待防止・権利擁護研修（市町虐待防止センター職員対象）</b>  <b>1) 1回目</b>  <b>【形式】</b> オンデマンド講義 <b>【参加数】</b> 19名 <b>【内容】</b> ①障害者虐待対応状況調査の結果（講師）今富克洋（山口県障害者支援課/主任主事） ②市町の役割と責務～行政行為と裁量権～（講師）島田直行（島田法律事務所/代表弁護士） ③障害者福祉施設従事者などによる障害者虐待の防止と対応（講師）服部恭弥（山口県社会福祉士会理事/有限会社ケアポート徳山代表取締役） ④養護者による障害者虐待における対応の流れ（講師）森永真里子（山口県障害者権利擁護センター/相談窓口担当） ⑤山口県障害者権利擁護センターについて（講師）松崎彩子（障害者権利擁護センター/相談窓口担当） ⑥当事者の声を聞く（講師）竹内麻美  <b>2) 2回目</b>  <b>【開催日】</b> オンデマンド講義 10月25日～11月15日、集合研修 11月16日 <b>【形式】</b> オンデマンド配信・集合研修 <b>【参加数】</b> 12名 <b>【内容】</b> オンデマンド講義：①障害者福祉施設従事者などによる障害者虐待の防</p>

	<p>止と対応（講師）遅塚昭彦（さいたま市自立支援協議会会長、公益社団法人埼玉県社会福祉士会理事）②性的虐待の防止と対応（講師）堀江まゆみ（白梅学園大学）③当事者の声を聞く 集合研修：①障害者虐待防止・権利擁護研修のポイント（講師）濱崎翔（山口県障害者支援課/主任）②事実確認調査における情報収集と面接手法（講師）藤井哲治（萩市権利擁護支援センター）③山口県障害者権利擁護センターについて（講師）森永真里子（山口県障害者権利擁護センター/相談窓口職員）④養護者による障害者虐待の防止と対応（初動期を中心にして）（講師）藤井哲治（萩市権利擁護支援センター）</p> <p><b>2. 障害者福祉施設等職員対象に研修の実施</b></p> <p><b>（1）令和4年度障害者虐待防止権利擁護研修の開催</b></p> <p>【開催日】オンデマンド講義 10月25日～11月18日、事後課題提出 11月18日〆切、①コースのみ集合研修、11月22日午前、同日午後、11月28日午前、同日午後、11月30日午前【形式】オンデマンド配信・集合研修【対象者】①障害者福祉施設等管理者・設置者/虐待防止責任者②障害者福祉施設等従事者③医療機関、学校、幼稚園、保育所、放課後児童クラブの関係者【参加数】オンデマンド講義①コース 166名、②コース 191名、③コース 55名【内容】オンデマンド講義：①障害者虐待防止・権利擁護研修のポイント（講師）濱崎翔（山口県障害者支援課/主任）②障害者虐待防止法の概要（講師）國澤宗巖（障害者支援施設ひかり苑/施設長）③障害者虐待の防止（講師）森尾憲嗣（山口県社会福祉士会障害者権利擁護センター/委員）④虐待防止に向けての体制整備（講師）國澤宗巖（障害者支援施設ひかり苑/施設長）⑤虐待が疑われる事案への対応について（講師）森尾憲嗣（山口県社会福祉士会障害者権利擁護センター/委員）⑥障害者虐待防止委員会、身体拘束等の適正委員会と虐待防止責任者の役割（講師）國澤宗巖（障害者支援施設ひかり苑/施設長）⑦性的虐待の防止と対応（講師）堀江まゆみ（白梅学園大学）⑧身体拘束・行動制限の廃止と支援の質の向上（講師）白江浩（難病ホスピスケア障害者支援施設 太白ありのまま舎）（講師）中野喜江（社会福祉法人 はるにれの里）⑨当事者の声を聞く 集合研修：運営者の責務と虐待防止委員会（講師）國澤宗巖（障害者支援施設ひかり苑/施設長）、森尾憲嗣（山口県社会福祉士会障害者権利擁護センター/委員）</p> <p><b>3. パンフレット</b></p> <p>障害者虐待防止に係るパンフレットを作成し、関係機関に配布。</p> <p><b>4. ポスター</b></p> <p>障害者虐待防止に係るポスターを作成し、関係機関に配布。</p>
<p>6. 権利擁護専門チーム派遣</p>	<p><b>1. 市町虐待防止センターへ権利擁護専門チームの派遣</b> 4件</p> <p><b>2. 第3回虐待対応支援専門職チーム連絡協議会に参画</b></p> <p>【開催日】3月15日【参加者】障害者・高齢者権利擁護支援専門職チ</p>

	ーム
7. 関係機関等に対する普及啓発及び研修	1. パンフレット 障害者虐待防止に係るパンフレットを作成し、関係機関に配布。
8. 障害者差別解消法の相談窓口の設置	1. 山口県障害者権利擁護センターの設置 本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。 2. パンフレット 障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例に係るパンフレットを作成。
9. 委員会の開催	1. 委員会を開催した。 (1) 第1回委員会 【内容】今年度事業の打ち合わせ【開催日】4月15日【場所】オンライン 【参加数】5名 (2) 第2回委員会 【内容】今年度事業の打ち合わせ【開催日】6月15日【場所】オンライン 【参加数】8名 (3) 第3回委員会 【内容】今年度事業の打ち合わせ【開催日】8月17日【場所】オンライン 【参加数】8名 (4) 第4回委員会 【内容】今年度事業の打ち合わせ【開催日】10月19日【場所】オンライン 【参加数】7名 (5) 第5回委員会 【内容】今年度事業の打ち合わせ【開催日】12月21日【場所】オンライン 【参加数】7名 (6) 第5回委員会 【内容】今年度事業の打ち合わせ【開催日】3月15日【場所】オンライン 【参加数】6名
<p>■総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュールを作成し、委員会で共有しました。</li> <li>・令和4年度山口県障害者虐待防止・権利擁護研修については、オンデマンド講義・集合研修を実施し、全日程終了しました。</li> <li>・普及啓発活動として障害者虐待防止に係るパンフレットやポスターを関係機関に配布した。</li> <li>・支援専門職チームに関しては、高齢者権利擁護支援専門職チームと合同で、活動実績の振り返りを行うとともに、今後の取り組みについて検討しました。</li> </ul>	

■委員会名：高齢者権利擁護推進委員会

○担当理事：吉村直美

○委員長：内藤誠

○委員：長岡佐都子、安光洋平、川口里美、宮下紀子、久保晃代、大野慶太

<p><b>【委員会設置目的】</b>          権利擁護業務等について社会福祉士としての専門性を発揮することができるように、また、社会福祉士間のネットワークづくりや個々のスキルアップを図ることを目的として研修等を開催し、地域包括支援センターに従事する社会福祉士を支援する。</p>	
<p><b>【基本方針】</b></p> <p>○ 地域包括支援センターにおいて対応の苦慮することが多い「高齢者虐待対応」についての研修会や情報交換をおこなう機会をつくることで、県内における各包括支援センターの「質の標準化」を図り、権利擁護等についての社会福祉士の専門性向上を支援する。</p> <p>○ 研修会を通じ、各圏域の地域包括支援センターが抱える課題について、圏域に所属する地域包括支援センター虐待対応者同士が身近な相談者となり、課題解決ができるようネットワーク形成を図る。</p>	
<p><b>【重点目標】</b>          県内における各包括支援センターの「質の標準化」を図り、権利擁護等についての社会福祉士の専門性向上を支援する。</p>	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 高齢者権利擁護事業	<p><b>1. 受託</b>          山口県から高齢者権利擁護推進事業を受託し、次の事業を実施した。</p> <p><b>(1) 専門的な業務相談</b>          ・相談受付及び相談窓口の設置          ・権利擁護支援専門チームの派遣（派遣実績：回数 1 回、相談件数 1 件）</p> <p><b>(2) 高齢者虐待対応関係者研修会の開催</b>  <b>【内容】</b> 高齢者虐待防止法に基づく通報受理、その対応における専門的視点及び技術の習得し、事例検討を行い、実践力の向上を図る。また、各市町の高齢者虐待対応関係者と情報交換し、ネットワーク形成の構築を図る。  <b>【開催日】</b> 12 月 14 日 <b>【講師】</b> コーチオンリーワン 上野和禎氏（認定社会福祉士）<b>【参加数】</b> 52 名</p> <p><b>(3) 第 1 回虐待対応支援専門職チーム連絡協議会に参画</b>  <b>【開催日】</b> 12 月 21 日 <b>【対象者】</b> 当会の障害者・高齢者権利擁護支援専門職チーム</p>
2. 地域包括ケア専門職派遣システム構築事業	<p><b>1. 受託</b>          山口県から地域包括ケア専門職派遣システム構築事業を受託し、専門職派遣のための人材バンクの構築、相談及び専門職派遣調整窓口の設置、地域包括支援センター等からの要請に基づく専門職の派遣。（専門職の派遣実績：2 回）</p>
3. 住宅改修等点検に係る専門職派遣事業	5 月 11 日、委託契約締結。（派遣実績：回数 3 回）
4. 委員会を年 3 回開催	<p><b>1. 委員会を実施</b>  <b>(1) 第 1 回委員会</b>  <b>【内容】</b> 研修会の打ち合わせ <b>【開催日】</b> 7 月 10 日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加数】</b></p>



	<p>4名</p> <p><b>(2) 第2回委員会</b></p> <p>【内容】研修会の打ち合わせ【開催日】8月28日【場所】オンライン【参加数】</p> <p>9名</p> <p><b>(3) 第3回委員会</b></p> <p>【内容】研修会の打ち合わせ【開催日】9月25日【場所】オンライン【参加数】</p> <p>8名</p> <p><b>(4) 第4回委員会</b></p> <p>【内容】研修会の打ち合わせ【開催日】11月20日【場所】オンライン【参加数】</p> <p>11名</p> <p><b>(5) 第5回委員会</b></p> <p>【内容】講師・ファシリ協力者を交えて研修会反省会、次年度事業について【場所】オンライン【参加数】8名</p> <p><b>2. 第1回虐待対応専門職チーム連絡協議会</b></p> <p>【内容】情報交換、「高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会」の報告【開催日】12月21日【場所】オンライン【参加数】2名（高齢者権利擁護推進委員会から）</p> <p><b>第2回虐待対応専門職チーム連絡協議会</b></p> <p>【内容】情報交換【開催日】3月15日【場所】オンライン【参加数】1名（高齢者権利擁護推進員から）</p>
--	--

■総括

高齢者虐待対応関係者研修会は一昨年の受講者アンケートの評価や委員会内での意見交換を踏まえ、講師をコーチオンリーワン上野氏に依頼した。7/21（木）オンラインにて委員長と打ち合わせ、8月28日に第2回委員会開催。9月25日に第3回、11月20日に第4回委員会実施。委員長が中心に事例作成し、ファシリテーターの協力も得て12月14日に開催した。申し込み54名中52名参加。今年度も事前動画学習（虐待防止法の基礎及び「高齢者虐待対応に関する調査研究結果」報告）と当日の事例検討を組み合わせた。事例を通じて事実確認や終結を意識した対応スキルの向上と、養護者への具体的な対応方法を学ぶと共に、参加者の実体験を共有できるような構成とした。一昨年度、昨年度とも事前打ち合わせや資料作成に際して講師への負担が大きくなったことが反省点である。研修企画・運営にあたっては講師と委員の負担軽減を図りたい。今年度は専門職チーム派遣の効果検証のため、包括支援センターへのアンケート調査を検討する。

■委員会名：子ども権利擁護推進委員会

○担当理事：杉山美羽

○委員：梅木幹司、讃井康一、橋本達哉、森永真里子

【委員会設置目的】

子どもの権利擁護のための相談体制事業を受託し、子どもの権利擁護体制を充実させるため、県が設置する社会福祉審議会等を活用し、県の実情に合わせた、児童養護施設等に入所する児童の意見表明を受けとめる体制づくりを検討・実践する。

<p><b>【基本方針】</b></p> <p>社会的養護の状況下にある子どもたちへの支援のため、次の事業を行う。</p> <p>○ 子どもからの意見を聞く機会をつくるため、意見表明支援員が定期的に児童養護施設や里親等を訪問し、子どもの相談等を受けることのできる関係を構築する。</p> <p>○ 子どもから、電話や手紙、関係職員等を通じて意見表明があった場合、意見表明支援員と権利擁護調査員が連携して、子どもに対する意見の聴取や事実関係の確認等を進め、定期的に社会福祉審議会に報告する。</p>	
<p><b>【重点目標】</b></p> <p>○ セルフアドボカシーに向けた関係構築。 ○ 権利擁護訪問相談</p> <p>○ 報告書作成 ○ 子ども並びに関係機関への周知・啓発</p>	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 意見表明支援員の配置	<p><b>1. 意見表明支援員の配置</b></p> <p>当委員会委員を意見表明支援員とした。</p>
2. 訪問型アドボカシーサービスの仕組みづくり	<p><b>1. 権利擁護調査員の配置</b></p> <p>業務委託内容には含まれていないため、配置せず。</p>
3. 意見表明支援員の養成研修	<p><b>1. 仕組みづくり</b></p> <p>今年度は、児童養護施設等に入所する児童の意見表明を受け止める体制づくりを検討・実施した。</p>
4. アドボカシーの周知・啓発	<p><b>1. 仕組みづくり</b></p> <p>主に支援員が児童養護施設等を訪問し、子どもとの交流等を通して、子どもが権利擁護や支援員に関する情報を理解し、支援員に相談をしてもいいと思う土壌を育む取り組みを行った。</p>
5. 訪問型アドボカシー相談	<p><b>1. スーパーバイザーの設置</b></p> <p>支援員は、定期的にスーパーバイザーからアドボカシーサービスに関連した対応について、指導や評価等を受けた。</p>
6. 事業実施結果や子どもの権利擁護体制充実に向けての今後の方策の提案を盛り込んだ報告書の作成	<p><b>1. 委託契約の締結</b></p> <p>4月1日付けで締結。</p>
7. 委員会の開催	<p><b>1. スーパーバイザーに同席いただき、本事業の遂行にあたり、委員会を開催した。</b></p> <p>(1) 1回目【日時】5月20日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(2) 2回目【日時】6月3日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(3) 3回目【日時】6月16日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(4) 4回目【日時】6月30日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(5) 5回目【日時】7月6日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(6) 6回目【日時】7月25日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(7) 7回目【日時】8月8日14:00～【形式】山口県社会福祉会館（県との連絡協議会）</p> <p>(8) 8回目【日時】9月7日18:30～【形式】オンライン</p>

	<p>(9) 9回目【日時】10月7日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(10) 10回目【日時】10月27日10:00～【形式】山口県社会福祉会館（県との連絡協議会）</p> <p>(11) 11回目【日時】10月28日18:30～【形式】オンライン</p> <p>(12) 12回目【日時】11月21日18:30【形式】オンライン</p>
7. アドボカシー講座の開催	<p>(1) 子どもアドボカシー基礎講座の実施【形式】オンライン【参加者数】34名</p> <p>1) 1日目【開催日】10月23日【内容】①オリエンテーション②子どもアドボカシーとは（講師）堀正嗣（熊本学園大学）③子どもの権利条約と子どもの権利（講師）昇慶一（常磐会学園大学）</p> <p>2) 2日目【開催日】10月29日【内容】①子どもの権利の理解（講師）原京子（子どもアドボカシーセンタ NAGOYA）②子どもの多様性の理解とアドボカシーの必要性（講師）高橋弘恵（NPO 法人チャイルドラインあいち）</p> <p>3) 3日目【開催日】11月3日【内容】①アドボカシーの理念と原則（講師）堀正嗣②当事者・経験者が求めるアドボカシー（講師）滝澤ジェロム③訪問アドボカシーとは（講師）奥村仁美（子どもアドボカシーセンタ OSAKA）</p> <p>4) 4日目【開催日】11月5日【内容】①個別アドボカシーとは（講師）栄留里美（大分大学）②障害児・乳幼児のアドボカシー（講師）堀正嗣</p> <p>5) 5日目【開催日】11月20日【内容】グループ討議・質疑応答・振り返り・修了式</p> <p>(2) 子どもアドボカシー実践講座の実施【形式】対面【参加者数】</p> <p>1) 1日目【開催日】12月3日【内容】①山口県の子どもの権利擁護に関する変遷と今後について（講師）松村昌弘（山口県こども家庭課児童環境班）②社会的養護を必要とする当事者の声（講師）児童養護施設等出身者③社会的養護施設の子どもの思いとどう向き合うか～児童養護施設に着目して～（講師）山口季音（至誠館大学）④アドボケイトの実際（演習①・出会いの場面、傾聴）（講師）福田みのり（山陽小野田市立東京理科大学）</p> <p>2) 2日目【開催日】12月4日【内容】①アドボケイトの実際（演習②・傾聴、意見表明支援）②アドボカシー葛藤とジレンマ（境界・利用者・多職種との関係性）③どもをエンパワメントするためには（講師）全講座 福田みのり</p>
<p>■総括</p> <p>7月より訪問型アドボカシーを実施し、小舎4施設にそれぞれ月1回のペースで訪問した。意</p>	

見表明の支援は1件であったが、子どもとの継続的な面談を通して、率直な思いを聞くことも増えてきた。また、基礎講座・実践講座を終え、18名の参加者が修了した。今後はアドボケイトの養成に伴った施設訪問の拡充とともに、一時保護所への訪問、子ども及び関係機関への周知啓発、社会福祉審議会を活用した仕組みづくりなどを行う予定。

### (3) 公益事業部

事業方針にもとづき、公益事業部は次の事業を行う。

#### ■委員会名：権利擁護センターばあとなあ山口委員会

○担当理事：安光洋平

○委員長：安光洋平

○副委員長：金江浩子、藤井哲治

○委員：平本康喜、大野繁己、鬼木泰子、深谷豊、野原徹、越智尚史、池本恭子、西村陽子、佐藤義浩、吉村直美

#### 【委員会設置目的】

社会福祉の援助を必要とする山口県民が地域で自立した生活を送ることができるように、権利擁護並びに成年後見制度等に関する事業を行う。

#### 【基本方針】

- 地域住民が抱える課題解決やニーズに応えるため、社会福祉士が身近な存在となるよう、社会福祉士の活動を広く地域住民に周知していくことができるように努める。
- 専門職として質の高い援助が提供できるよう、倫理意識の向上及び対人援助技術等の向上を目指す。
- 各圏域の活動を活性化し、会員同士の顔が見える関係をつくることで、相互に協力し支え合う組織づくりを目指す。
- 弁護士会等の職能団体や関係機関との協同、連携の強化に努める。

#### 【重点目標】

1. 倫理綱領、行動規範を意識した活動の実践。
2. 成年後見制度利用促進に向けた体制整備への参画及びばあとなあ山口体制の検討。

#### 2022年度事業計画

#### 2022年度事業報告

1. 権利擁護に関する相談事業

#### 1. 権利擁護に関する相談事業の実施

##### (1) 本会事務局に相談窓口の設置

本会事務局に相談窓口を設置し相談対応。

##### (2) 無料相談会の開催

尾崎邦子氏寄付金活用事業として成年後見等無料相談会を防府、周南地区で定期開催。

##### 1) 防府会場

【日時】平日の午前9時から午後5時（年末年始、お盆、GWを除く）【場所】合同会社結い後見事務所、相談者宅、福祉施設、行政機関等

【主な相談内容】生活上の問題に関する相談、権利擁護（成年後見、任意後見、財産管理委任契約、虐待）に関する相談、福祉サービスの利用に関する相談 【相談件数】計32件

	<p><b>2) 周南会場</b></p> <p>【日時】毎月第1火曜日(5月、1月は第2火曜日) 10:00~15:00</p> <p>【場所】ゆめプラザ熊毛第5会議室【主な相談内容】成年後見制度について、申し立てまでの一般的な流れの概要、成年後見制度において、後見人等のできる・できないこと、個別ケース支援における関連福祉制度と成年後見人の制度の効果の検討など【相談件数】2件</p> <p><b>(3) 高齢者・障害者出張相談へスタッフの派遣</b></p> <p>社会福祉士同行件数：0件</p>
<p>2. 未成年後見人等・成年後見人等候補者の推薦に関する事業</p>	<p><b>1. 成年後見人等候補者の推薦に関する事業を実施</b></p> <p><b>(1) 後見人等の候補者の推薦</b></p> <p>山口家庭裁判所より後見人等の候補者照会依頼を受けた後、委員会において候補者を調整し適任者があれば推薦。・推薦依頼件数 106件</p> <p><b>(2) 会員の支援</b></p> <p>圏域委員により随時支援を実施。</p> <p><b>(3) 名簿登録審査</b></p> <p>2月活動報告書チェック時に実施予定。</p> <p><b>(4) ぱあとなあ活動報告の提出</b></p> <p>年2回(2月、8月)実施。</p> <p><b>(5) 業務監査委員会の開催</b></p> <p><b>1) 第17回業務監査委員会</b></p> <p>【開催日】6月17日【形式】オンライン【出席者】業務監査委員3名、正副委員長</p> <p><b>2) 第18回業務監査委員会</b></p> <p>【開催日】1月13日【形式】オンライン【出席者】業務監査委員2名、正副委員長</p> <p><b>(6) 相談・苦情受付窓口</b></p> <p>本会事務局に相談・苦情受付窓口を設置して対応。</p>
<p>3. 研修等に関する事業</p>	<p><b>1. 研修等に関する事業の実施</b></p> <p><b>(1) 令和4年度成年後見人材育成研修</b></p> <p>受講者11名の推薦を行った。</p> <p><b>(2) 名簿登録研修の実施</b></p> <p><b>1) 名簿登録研修</b></p> <p>【開催日】2月26日開催予定【形式】集合【参加数】20名</p> <p><b>(3) 名簿登録更新研修の実施</b></p> <p>【開催日】第1回目：令和5年1月28日、第2回目：2月9日</p> <p>【内容】家財処分と死後事務について</p> <p><b>(4) 県内5圏域に分かれ、圏域ごとに勉強会の実施</b></p> <p><b>下関圏域</b></p> <p><b>1) 1回目</b></p> <p>【内容】後見活動についてのおしゃべり【開催日】6月9日【場所】オン</p>

ライン【参加数】社会福祉士 8 名

2) 2 回目

【内容】後見事務の終了について【講師】鈴木朋絵弁護士【開催日】7 月 27 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 15 名、弁護士 3 名

3) 3 回目

【内容】後見活動についてのおしゃべり【開催日】10 月 13 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 8 名

4) 4 回目

【内容】事例検討①精神障がい者の身上監護について②相続について【開催日】12 月 1 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 18 名、弁護士 4 名

**宇部圏域**

1) 1 回目

【内容】近況報告及び後見活動に関する情報交換、宇部圏域の今年度の活動（勉強会・圏域担当セミナー）について【開催日】5 月 9 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 8 名

2) 2 回目

【内容】事例検討、成年後見セミナーについて【開催日】7 月 11 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 9 名

2) 3 回目

【内容】事例検討【開催日】10 月 24 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 10 名

**山口・萩・防府圏域**

1) 1 回目

【内容】民事信託について【講師】濱田隆弘弁護士（中山・石村法律事務所）【開催日】6 月 17 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 16 名、弁護士 3 名

2) 2 回目

【内容】後見活動での困りごとについての情報共有【開催日】2 月 17 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 12 名、弁護士 1 名

**周南圏域**

1) 1 回目

【内容】生活支援体制整備事業について【講師】山本多恵（周南市社会福祉協議会）【開催日】5 月 27 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 21 名、弁護士 1 名

2) 2 回目

【内容】救護施設について【講師】藤井哲治（ぱあとなあ山口/副委員長）【開催日】6 月 24 日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 16 名、弁護士 1 名

3) 3 回目

	<p>【内容】代理権目録について【講師】通山和史弁護士【開催日】7月22日 【場所】オンライン【参加数】社会福祉士名、弁護士1名</p> <p>4) 4回目 【内容】司法ソーシャルワークについて【講師】讚井康一氏（結い後見事務所/代表、一般社団法人ソーシャルワークセンター/代表理事）【開催日】9月30日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士20名、弁護士1名</p> <p>5) 5回目 【内容】「力をあわせて 地域包括ケアシステムから地域共生社会へ～誰もが住み慣れた場所で暮らし続けるために～」【講師】小野薫（おのクリニック院長）【開催日】10月28日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士14名、弁護士1名</p> <p>6) 6回目 【内容】「座談会～仲間と語る後見活動～」：会員同士による情報交換(ピアカウンセリング、ネットワーク構築を兼ねる)【開催日】11月25日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士10名、弁護士1名</p> <p><b>岩国圏域</b></p> <p>1) 1回目 【内容】成年後見制度利用促進事業について【講師】坂本正亮（岩国市社会福祉協議会）【開催日】6月16日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士19名</p> <p>2) 2回目 【内容】判断能力に支障をきたす精神疾患について【講師】中村研（いしい記念病院/精神科医師）【開催日】10月20日【場所】オンライン【参加数】社会福祉士18名</p> <p>(5) ぱあとなあ全体会議を年4回開催</p> <p>1) 第1回全体会議 【内容】2021年度事業報告・決算報告【開催日】4月23日【場所】オンライン【参加数】60名</p> <p>2) 第2回全体会議 【内容】業務監査の報告、8月活動報告書の提出について【開催日】8月6日【場所】オンライン【参加数】53名</p> <p>3) 第3回全体会議 【内容】活動報告書の報告、今後の研修、「企業・団体の従業員とその家族の権利擁護について」講師：牛見和博先生【開催日】12月3日【場所】オンライン【参加数】67名</p> <p>4) 第4回全体会議 【内容】業務監査の報告、2月活動報告書の提出について、名簿登録更新研修【開催日】1月28日【場所】オンライン【参加数】82名</p>
4. 啓発事業に関する事業	1. 啓発事業に関する事業の成年後見制度活用セミナー 中止

<p>5. 権利擁護に関する専門職団体、関係機関との連携に関する事業</p>	<p><b>1. 権利擁護に関する専門職団体、関係機関との連携に関する事業の実施</b></p> <p><b>(1) 日本社会福祉士会権利擁護センターばあとなあとの連携</b>          日本社会福祉士会主催の会議に参画予定。          成年後見制度利用促進に関する緊急アンケート調査への協力。          都道府県担当職員・アドバイザー向け研修に受講者を派遣(安光洋平)</p> <p><b>(2) 弁護士会との連絡協議会の開催</b></p> <p><b>1) 第1回目</b>  <b>【内容】</b> 未成年後見制度について <b>【講師】</b> 片山智宏(片山法律事務所)  <b>【開催日】</b> 4月23日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加数】</b> 社会福祉士53名、弁護士2名</p> <p><b>2) 第2回目</b>  <b>【内容】</b> 「企業・団体の従業員とその家族の権利擁護(高齢者、障害者など)にどのように関わっていくか。そのために社会福祉士と弁護士がどのように協働するか」 <b>【開催日】</b> 8月6日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加数】</b> 社会福祉士43名、弁護士6名</p> <p><b>3) 第3回目</b>  <b>【内容】</b> 「第19回高齢者・障がい者権利擁護の集い」についての報告、身寄りのない人の支援 <b>【開催日】</b> 12月3日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加数】</b> 社会福祉士47名、弁護士2名</p> <p><b>(3) 法テラス地方協議会への出席</b> 欠席</p> <p><b>(4) 成年後見制度利用促進協議会等への委員の推薦</b>          山陽小野田市成年後見制度利用促進協議会(豊嶋則子)、下関市成年後見制度利用促進協議会(森清珠実,福本由美)、周南市成年後見制度利用促進連携協議会(室本好重)、和木町の権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける協議会(上田克典)、山口市受任調整会議(池永泰典、越智尚史、野原徹)</p> <p><b>1) 第1回成年後見制度利用促進のための意見交換会</b>  <b>【内容】</b> 家裁からの現況報告、現況に基づいた今後の方針検討、今年度の県事業の取組、第二期成年後見制度利用促進基本計画等 <b>【開催日】</b> 6月29日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【出席者】</b> 安光洋平</p> <p><b>2) 第2回成年後見制度利用促進のための意見交換会</b>  <b>【内容】</b> 中核機関設置に向けた意見交換会、第二期計画における県業 <b>【開催日】</b> 10月17日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【出席者】</b> 安光洋平</p> <p><b>3) 三士会、家裁、県社協及び県・阿武町の意見交換会</b>  <b>【内容】</b> 中核機関設置に関する阿武町協議、山口県成年後見制度利用促進協議会 <b>【開催日】</b> 12月14日、1月24日、2月14日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【出席者】</b> 藤井哲治、安光洋平</p> <p><b>4) 令和4年度山口県成年後見制度利用促進協議会</b>  <b>【内容】</b> 第二期成年後見制度利用促進基本計画について、都道府県による協議会設置の趣旨・目的について、協議会における令和5年度以降の協議事項について <b>【開催日】</b> 3月17日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【出席者】</b> 安光洋平</p>
--	---



6. 成年後見制度利用促進に向けた体制整備への協力	<b>1. 成年後見制度利用促進に向けた体制整備</b> <b>(1) 家庭裁判所との連絡協議会</b> <b>【開催日】</b> 11月21日(月) <b>【場所】</b> ハイブロット型 <b>【参加者】</b> 安光洋平 <b>(2) 市町の成年後見制度利用促進に向けた体制整備へ参画</b> 市町などからの委員派遣依頼に対応。 <b>(3) ぱあとなあ山口会員への情報提供</b> 全体会議などを通して情報を提供。
7. 本会の他委員会との協働・連携	<b>1. 「意思決定支援の実践に向けた研修」の開催</b> 意思決定支援指導者養成研修に会員を派遣した。 <b>【参加者】</b> 安光洋平
8. 委員会・全体会議の開催(年4回)	<b>1. 本会の他委員会との協働・連携</b> 高齢者権利擁護推進委員会事業の権利擁護支援専門職チーム派遣に協力した。派遣実績回数4回、相談件数4件
9. その他、権利擁護に関すること	<b>1. 委員会の開催</b> ぱあとなあ全体会議年4回開催に合わせ、委員会委員会会議を開催した。
<b>■総括</b> オンラインを活用して、全体会議や圏域勉強会、そして、業務監査を実施した。 成年後見受任件数は600件以上になり、年2回の活動報告書は、報告書の管理・事務の効率化を図るため、日本社会福祉士会の活動報告システムを導入した。 成年後見活動においては、受任件数は年々増加傾向であり、受任者数も微増であるが、組織及び活動が拡大しつつある中、今一度、本委員会に係る規程類を整備に取り組み、適切な後見活動を遂行できるサポート体制の構築が課題である。	

**■委員会名：スクールソーシャルワーク委員会**

- 担当理事：中村幸一郎
- 委員長：中村幸一郎
- 副委員長：道中朋子
- 委員：中村あゆみ、藤田和博、森永真里子

**【委員会設置目的】**

社会福祉の援助を必要とする山口県民の生活と権利を擁護するため、スクールソーシャルワークに関する事業を行う。

**【基本方針】**

- 県のFRアドバイザーに登録される社会福祉士(SSW)の推薦をする。※令和3年度からは年度ごとに募集をせず、登録解除時のみ受け付ける。
- 県内のいじめ問題に関する協議会や対策委員会、調査委員会、検証委員会等に会員を推薦する。
- SSWの資質向上のための、①SSW研修会(必須研修)、②スキルアップ研修(いじめの内容を含める)を県精神保健福祉士協会と共同で開催する。また勉強会として③SSW未来塾を実施する。
- フードバンク山口及び株式会社アービングと連携して、貧困家庭への支援を展開する。
- スクールソーシャルワークの実践を通して、子どもやその家族へ最善の支援を行っていく。

**【重点目標】**

1. 定期的な研修や勉強会の開催により、会員の資質向上に努める。
2. 子ども、保護者、学校、教育委員会など関係機関からのクレームに対して早期に対応し、不適切な支援についての指導とスキル向上のための支援を行い、関係の改善と信用の向上に努める。
3. フードバンク山口及び株式会社アービングと連携し、貧困家庭への支援の実績を積む。

2022 年度事業計画

2022 年度事業報告

1. 現任者への研修  
の企画・運営

**1. 現任者への研修の企画・運営**

**(1) 初任者スクールソーシャルワーカー等オンライン研修**

【開催日】5月21日【場所】オンライン【参加数】約40名(内、所属会員2名)【内容】①あいさつ：ファシリテーター米川和雄(帝京平成大学准教授・(東京社会福祉士会・東京精神保健福祉士協会)②行政説明：スクールソーシャルワーカー活用事業の動向と関連施策：大野照子氏(文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室課長補佐)③スクールソーシャルワーカー資質向上指標(1)紹介と実際：中村幸一郎(山口県常勤SSWrスーパーバイザー)④スクールソーシャルワーカー資質向上指標(2)業務管理、SW理解、ストレス管理、クライアント尊重、同僚尊重⑤スクールソーシャルワーカー資質向上指標(3)SSW専門性：事業理解(配置形態理解)、教育領域・不登校・いじめ・困窮・児相の理解1)謝礼型配置形態紹介：藤田和博(山口県周南市SSWr)2)不登校支援紹介：原口一美(群馬県安中市SSWr)3)いじめ対応紹介：後藤久美(静岡県富士市SSWr)4)児童相談所紹介：増田奈苗(東京都港区児相主任)5)SSWrが受理を決める見立てと自治体内研修の企画提案：江連ユミ(東京都練馬区SSWr)⑥スクールソーシャルワーカー資質向上指標④学校との連携の前提、チーフクラスSSWrの専門性⑦最新事例：横浜市におけるSSWr配置と展望：宮生和郎氏(横浜市教育委員会人権教育・児童生徒課課長)⑧振り返りと情報共有、要望等⑨情報紹介と終了の挨拶

**(2) 県教主催「県FR・SSW連絡会議(県教委との共同企画)」**

【開催日】1月26日(木)13:30~16:00【場所】オンライン【内容】事例検討【参加数】約50名

**(3) 未来塾**

【開催日】9月24日(土)9:00~11:00【場所】オンライン【参加数】8名【内容】「もしいじめ対策委員会へ呼ばれたら～経験者との情報共有～」

**(4) SSW研修**

【開催日】2月25日(土)【場所】オンライン【参加数】12名【内容】①「まずはやってみよう!～福祉と一般企業のコラボレーション～」【講師】室田秀典(株式会社アセイコーポレーション/営業部長)、谷村鴻文(下関市社会福祉協議会/生活支援コーディネーター)、道中朋子(下関市SSW)②「精神保健福祉士のスクールソーシャルワーク実践」【講師】岩永靖(九州ルーテル学院大学/准教授)

2. 苦情・要望の受付窓口	1. なし
3. 精神保健福祉士協会のSSW担当部局との連携	1. 研修は県精神保健福祉士協会との共催。山口県SSWメーリングリストにて、SSW名簿を共有した。
4. その他、SSW事業に関わること	1. 委員会の開催 上記研修の約1か月前に打ち合わせを行った。

■総括

オンラインではあったが、今年度も計画どおり研修会を実施することはできた。県教委との共同企画であるFR・SSW連絡協議会については、初めてオンラインでの開催を試み、SSWだけでなく、主任児童委員・SC・弁護士・医師など、幅広い職種から約50名の参加があった。

今後面接技術や事例検討は対面、講義形式のものはオンラインを中心に考えていくなどし、対面とオンラインの両方の良さを活用して、研修会を実施していきたい。

■委員会名：キャリア教育推進委員会

○担当理事：尾中未来

○委員長：山中将嗣

○副委員長：則近あゆみ

○委員：佐伯美由紀、吉本暁子

【委員会設置目的】

次世代・後継者育成の強化等に関する事業を行う。

【基本方針】

- 次世代育成の取組み強化として、①子どもへの働きかけ推進、②養成施設への働きかけ・連携の強化、③資格取得支援の推進を行う。
- 後継者育成の強化として、社会福祉士実習指導者の養成・支援を行う。現指導者の資質向上のためのフォローアップを行い、質の高い実習指導の提供に寄与していく。

【重点目標】

1. 次世代育成を目的とし、職能や会の魅力発信を行う。発信出来るような素材作りを行っていく。また県内養成校との連携強化を図るため、ブロックと協働していく。
2. 後継者育成を継続的に行えるよう、実習指導者養成を行い、県内養成校の学生が多く施設で実習できるよう、指導者の増員・確保を目指す。現指導者のスキルアップ、フォローアップを実施し、質の向上及び実習指導へのモチベーションアップを図る。

2022年度事業計画	2022年度事業報告
1. 子どもへの働きかけ	<p>1. パンフレットの作成 「社会福祉士ってどんな人？」完成。印刷し会員、県内中学校、高校へ配布した。</p> <p>2. ふくしの寺子屋授業開催（コネクト・ワンさんと共催） 【内容】医師によるいのちの授業、5名のゲストスピーカーから社会福祉士の仕事の魅力・やりがいなどの話。子供たちとの交流【開催日】12月10日(土) 10時～12時【形式】オンライン【参加数】9名(高校生、</p>

	<p>専門学生、大学生)【ゲストスピーカー】山本顕信、渡邊和喜、中原小織、森岡剛史、藤田和博</p>
<p>2. 会の意義・入会の意義・会の魅力やソーシャルワークの実践事例を発信する。</p>	<p>1. 山口県立大学、YIC 介護福祉専門学校にて、会の意義・入会の意義・会の魅力やソーシャルワークの実践事例の発信。</p> <p>(1) 山口県立大学への PR 【開催日】11月2日(水)【場所】山口県立大学 2号館 B401 教室 【対象者】2年生【参加数】約100名【対応者】橘会長、吉本暁子、山中将嗣</p> <p>(2) YIC 看護福祉専門学校 本会への入会案内を送付。</p> <p>(3) 萩至誠館大学への PR 【開催日】12月6日(火)【形式】ハイブリット形式(集合、オンライン) 【対象者】1～3年生【参加数】約30名【対応者】橘会長、井上ひろみ、松尾考真</p>
<p>3. 山口県立大学等の実習連絡会議へ出席</p>	<p>1. 山口県立大学の实習報告会連絡会議へ出席</p> <p>(1) 新カリキュラム導入に伴うソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱについての説明会 【開催日】1月11日(水)【場所】オンライン【対応者】山中将嗣</p>
<p>4. 社会福祉士実習指導者フォローアップ研修の開催。</p>	<p>1. 社会福祉士実習指導者フォローアップ研修の開催</p> <p>【開催日】11月20日(日)【形式】オンライン【内容】講師：添田正揮(日本福祉大学 社会福祉学部 准教授)、講義：新社会福祉士養成カリキュラムにおける実習プログラミングと実習評価のポイント、演習：①実習プログラミング②実習評価【参加数】49名(申し込み53名、当日欠席4名)</p>
<p>5. 社会福祉士全国統一模擬試験の実施</p>	<p>1. 社会福祉士全国統一模擬試験の実施</p> <p>【開催日】10月2日(日)【形式】会場受験、在宅受験【参加者】一般6名、学生90名</p>
<p>6. 委員会の開催</p>	<p>1. 委員会の開催</p> <p>(1) 第1回委員会 【内容】全体委員会の開催、パンフレット作成、研修会について 【開催日】8月4日(木)【形式】オンライン【参加数】3名</p> <p>(2) 第2回委員会 【内容】パンフレット作成、フォローアップ研修会、寺子屋授業【開催日】8月26日(金)【形式】オンライン【参加者】4名</p> <p>(3) 第3回委員会 【内容】パンフレット作成、PR活動、フォローアップ研修会、寺子屋 【開催日】10月27日(木)【形式】オンライン【参加者】5名</p> <p>(4) 第4回委員会 【内容】各活動の振り返り【開催日】12月22日(木)【形式】オンライン【参加者】5名</p>

	<p>2. その他会議</p> <p>○実習指導者フォローアップ研修会講師との打ち合わせ</p> <p>(1) 第1回打ち合わせ</p> <p>【内容】研修内容について【開催日】9月2日(金)【形式】オンライン【参加者】3名(講師含む)</p> <p>(2) 第2回打ち合わせ</p> <p>【内容】研修内容について【開催日】11月10日(木)【形式】オンライン【参加者】4名(講師含む)</p> <p>○ふくしの寺子屋打ち合わせ</p> <p>(1) 第1回打ち合わせ</p> <p>【内容】講師、ゲストスピーカーとの打ち合わせ【開催日】12月2日(金)【形式】オンライン【参加者】11名</p>
--	---

■総括

今年度の予定事業は計画通り実施、終了した。委員会や研修会はオンライン(Zoom)で対応した。会員のみなさまにも有効活用してもらえらるパンフレットが完成したので、職業紹介やふくしの寺子屋授業など子どもたちへPRする機会にも今後活用していく。これまでは実習指導者養成講習会とフォローアップ研修会を隔年で交互に実施してきたが、カリキュラムに対応した実習になるため、実習指導者フォローアップ研修会を次年度も開催し、会員のフォローを継続する予定。会員に協力いただく事業が多く、協力者の依頼に苦心した。事業数に対して委員の数が不足していると感じたため委員数の増員が必要。

■委員会名：司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備委員会

- 担当理事：山本孝博
- 委員長：讃井康一
- 委員：遠藤嵩大、富海隆、橋本嘉美、大田純子

<b>【準備会設置目的】</b>	
養成機関立ち上げに向けて必要なニーズ把握及び組織体制について検討する。	
<b>【基本方針】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員へのニーズ及び実態把握、意見交換等</li> </ul> </li> <li>○ 社会福祉士会内における準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員に対して行うこと⇒会員のニーズ及び実態把握・意見交換等</li> <li>・事務局及び理事会に対して行うこと⇒立ち上げる組織の仕組み、運用の検討等</li> </ul> </li> </ul>	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
<p>1. 準備会会合の実施（随時開催）</p> <p>(1) 把握したニーズにもとづいた組織体制の検討、理事会への提案</p> <p>(2) 委員会委員に向けて研修</p>	<p>1 準備会会合の実施</p> <p>(1) 第1回準備会</p> <p>【内容】今後の取り組みについて（確認、年間スケジュール）</p> <p>【開催日】5月18日【場所】オンライン【参加数】6名</p> <p>(2) 第2回準備会</p> <p>【内容】オリエンテーションの打ち合わせ（内容確認、司法ソ</p>

<p>(年1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師(刑務所勤務の社会福祉士を検討中)</li> <li>・仮「刑務所勤務の社会福祉士が司法ソーシャルワーカーに期待すること」</li> <li>・目的:運営委員で司法ソーシャルワーカーの役割を共通認識する。講演後、講師と運営委員とで意見交換をする時間を持つ。</li> <li>・可能な限り集合研修で行う。不可能な場合はオンライン研修。</li> </ul>	<p>シャルワーカー養成組織の在り方について)【開催日】6月22日【場所】オンライン【参加数】6名</p> <p><b>(3) 第3回準備会</b> 【内容】オリエンテーションの打ち合わせ(当日の講師担当弁護士を交えて当日の内容確認、スケジュール確認、役割分担)【開催日】7月12日【場所】オンライン【参加数】4名+弁護士1名</p> <p><b>(4) 第4回準備会</b> 【内容】オリエンテーションの打ち合わせ(最終確認)【開催日】9月7日【場所】オンライン【参加数】5名</p> <p><b>(5) 第5回準備会</b> 【内容】オリエンテーションの反省。アンケートの検証。司法SWに向けた課題の抽出と検討【開催日】10月19日【場所】オンライン【参加者】5名</p> <p><b>(6) 第6回準備会</b> 【内容】来年度事業計画について協議。【開催日】1月11日【場所】オンライン【参加者】6名</p> <p><b>(7) 第7回準備会</b> 【内容】来年度の具体的な取り組みについて検討。開催日3月17日【場所】オンライン【参加者】4名</p> <p><b>2 オリエンテーションの開催</b> 司法ソーシャルワーカーという仕事 ～司法領域における社会福祉士の役割について考える～ 【開催日】9月17日【場所】防府市文化福祉会館3階9号室 【参加者】9名【委員参加者】6名【弁護士講師】1名</p> <p><b>3 委員向けの研修</b> 委員会内で知識と技術の向上をはかる。讃井委員長、富海さんに体験談を拝聴しながら司法SWの役割を深く学ぶ。 【開催日】12月8日【場所】山口市内【参加者】5名</p>
<p><b>2. 関係機関及び会員の実態把握</b></p> <p>(1) 関係機関(弁護士会・検察庁)との意見交換の実施(年各1回程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士に期待することの把握</li> </ul> <p>(2) 会員向けの研修と意見交換の実施(年1回)</p> <p>(3) 四会連携運営会議(山口県弁護士会 山口県社会福祉協議会 山口県精神保健福祉</p>	<p><b>1 四会連絡協議会に出席</b> 本会、山口県弁護士会、山口県精神保健福祉士協会、山口県地域生活定着支援センター(山口県社会福祉協議会)の四会連絡協議会に出席。</p> <p><b>(1) 第1回四会連携運営会議</b> 【内容】四会合同研修の打ち合わせ【開催日】月日【場所】山口県社会福祉会館【出席者】</p> <p><b>3 四会合同研修会の開催</b> <b>(1) 令和4年度罪に問われた高齢者、障害者の刑事弁護における司法と福祉の連携のための四会合同研修会 ～入口支援のプロセスと更生支援計画について学ぶ～</b> 【開催日】7月2日【場所】山口県セミナーパーク【内容】刑</p>



士会 山口県社会福祉士会) への会議、企画 (合同研修会) の参加。(随時開催)	事司法に携わる福祉専門職の心構えと更生支援計画の基礎(講師：富海隆),実際の支援について(講師：讚井康一),グループワーク(更生支援計画の策定、各グループ発表、質疑応答・講評)
<p>■総括</p> <p>オリエンテーションの開催が修了し、参加者からのアンケート結果から司法 SW の業務や組織化のための課題が具体化された。</p> <p>来年度からに向けた取り組みの内容を検討し、養成機関立ち上げの実現を計画する。</p> <p>弁護士会からの相談窓口を開設するなど実現可能な行動を模索していく。</p>	

#### (4) 総合企画部

事業方針にもとづき、総合企画部は次の事業を行う。

○部長：野上明子

○担当理事：藤本真樹、上野綾乃、安田風明、長岡佐都子、越智尚史

<p><b>【委員会設置目的】</b></p> <p>社会情勢の変化に伴い社会福祉及び介護を取り巻く状況の変化に応じて、職能団体として取り組むべき課題を抽出し必要な事業を推進することで、社会福祉士としての専門性の維持・向上を図り、また倫理綱領に基づいた相談援助活動が行えるように必要な知識、技術の専門性と倫理性を常に向上させるとともに、社会福祉の援助を必要とする県民の生活と権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与する。</p>	
<p><b>【基本方針】</b></p> <p>○ 第一期中期計画の基本方針に基づき、目標の達成を見据えた事業展開を行う。</p>	
<p><b>【重点目標】</b></p> <p>本年度は、コロナ禍での第一期中期計画の目標の達成を見据え、一つ一つできることから取り組むとともに、実施状況の評価を行う。</p>	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
<p>1 組織基盤の整備・強化</p> <p>(1) 強い組織化</p> <p>1) 本会や社会福祉士へのニーズに応える事業の推進</p> <p>2) 会員数の増加</p> <p>3) 会員参加の法人運営の推進</p> <p>(2) 会員支援の整備・強化</p> <p>1) 綱紀案件対応の整備</p> <p>2) スーパーバイ</p>	<p>1. 組織基盤の整備・強化に向けた取り組み</p> <p>(1) 第一期中期計画の実施状況の評価</p> <p>【開催日】11月15日【場所】オンライン</p> <p>(2) 会員数 750 名へ</p> <p>ブロック活動部に協力依頼を行った。</p> <p>(3) 企画チームによる事業</p> <p>1) 第 26 回定時社員総会時の講演会「理論とアプローチに基づいた実践力の向上に関する研修」【テーマ】ソーシャルワーク理論の実践アプローチ【講師】上白木悦子氏(大分大学大学院 福祉健康科学研究科)【開催日】6月25日【場所】オンライン【参加数】38名(内、社会福祉士会員 38名)</p> <p>2) 第 27 回定時社員総会時の講演会</p> <p>【テーマ・講師】第一部「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク」講師：梅木幹司(至誠館大学 現代社会学部 現代社会学科/教授)、第二部「アドボカシーと意思決定支援を考える」講師：讚井康一(結い後見事務所/代表)【開催日】3月25日【場所】山口県セミナーパーク 103 研修室【担</p>

<p>ズ機関の整備・普及</p> <p>(3) 事務局体制の強化</p> <p>1) 研修に係る作業の効率化を図る</p>	<p>当理事】藤本真樹、上野綾乃【企画チーム委員】梅木幹司、讃井康一【参加数】会場参加 10 名、オンライン参加 28 名</p> <p><b>3) 独立型社会福祉士実践報告会</b></p> <p>【テーマ】独立型社会福祉士実践報告会&amp;情報交換会【実践報告者】池永泰典(社会福祉相談所空/代表)、岩金俊充(いわかね社会福祉士事務所/フリーランスソーシャルワーカー)、上野和禎(コーチ・オンリーワン/代表)、讃井康一(結い後見事務所/代表)【開催日】3月10日【場所】【担当理事】越智尚史【企画チーム委員】讃井康一、瀧口コヅエ【参加数】9名</p> <p><b>4) 広報の検討</b></p> <p>昨年度より、公式ライン、Facebook ページによる情報発信を始めたところであり、安定した情報発信を図った。</p> <p><b>5) 災害マニュアルの実効性の向上</b></p> <p>【内容】3月2日開催の日本社会福祉士会主催の都道府県社会福祉士会災害担当者会議に参画【担当理事】藤本真樹【企画チーム委員】中尾あゆみ</p> <p>【内容】2月9日開催の災害時における福祉支援連絡会議に出席【出席者】橘康彦</p> <p><b>(4) 本会独自の綱紀案件対応システムの構築</b></p> <p>日本社会福祉士会主催の 2022 年度事務局代表者会議に事務局職員を出席させ、苦情対応事務に関して情報交換を行った。</p> <p><b>(5) スーパーバイズ機関</b></p> <p>本会規程第 13 号「会員に対する支援の実施規程」につき、ホームページ及び会報に掲載し周知を図り、スーパーバイズ機関の存在を周知。実績 0 件。第 2 回通常理事会にて、本規程の廃止が承認された。</p> <p><b>(6) 研修に係る作業の効率化</b></p> <p>申し込みはフォームを使用することで、事務作業の煩雑さを軽減した。</p>
<p>2 権利擁護及び地域福祉の増進</p> <p>(1) ブロック活動部の強化</p> <p>1) 活動料の最低水準化</p> <p>2) 地域に即した活動の強化</p> <p>3) 会員ファーストの活動重視</p> <p>4) 計画に応じた財源導入の意識化</p> <p>(2) 公益事業部の</p>	<p><b>1. ブロック活動部との連携</b></p> <p><b>(1) 全ブロックにて、新入会員歓迎会の開催</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、延期、またはオンライン上で実施した。</p> <p><b>(2) 全ブロックにて、オリエンテーションの開催</b></p> <p>下関市ブロック、周南市・下松市・光市ブロック、柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町で開催した。</p> <p><b>(3) 会員数 750 名へ</b></p> <p>各ブロックで新入会員の目標数を設定して、会員数 750 名を目指したが、未達成となった。</p> <p><b>(4) 総合企画部との合同会議を開催</b></p> <p>【開催日】11月19日【方法】オンライン【内容】来年度の事業について、ブロック活動活性化に向けた意見交換会など</p> <p><b>2. 司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備委員会設</b></p>



<p>強化・拡充</p> <p>1) 災害支援事業の推進</p>	<p><b>置</b></p> <p>詳細は、司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備会を参照。</p> <p><b>3. 災害支援活動協力員</b></p> <p>【内容】会報などで災害支援協力員を募集。登録者には、名簿登録者専用のメーリングリストを設置し、災害支援に関する情報を提供【災害支援活動協力員登録者】9名</p> <p><b>4. 社会福祉士の専門性を発揮させるため新たな委託事業の獲得</b></p> <p>(1) 下関市成年後見制度利用促進事業支援業務 今年度より業務委託契約を締結し実施した。</p> <p>(2) 住宅改修等点検に係る専門職派遣事業 県より、本事業を受託し、専門職の派遣を調整。派遣実績4回。</p>
<p>3. 専門性の向上</p> <p>(1) キャリアアップ体制の強化</p> <p>1) 生涯研修の普及・推進</p> <p>(2) 専門的・実践能力の向上</p> <p>1) 地域共生社会の実現に資する体制構築を推進するソーシャルワークの機能を発揮できる実践能力の強化</p> <p>2) 実践研究・実践報告の推進</p> <p>3) e-ラーニングの普及・活用の推進</p> <p>(3) 認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進</p> <p>1) 基礎研修の促進・充実</p> <p>2) スーパービジョン体制の構築</p> <p>3) 認定社会福祉士の資格取得支援の推</p>	<p><b>1. 生涯研修の普及・推進</b></p> <p>(1) 生涯研修制度の周知 会報や会員のしおりを通して、生涯研修制度を周知した。</p> <p>(2) 企画運営への活動率の向上 4つの企画チームを立ち上げて、企画チームの企画運営に担う会員を募集。本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照。</p> <p><b>2. 専門的・実践能力の向上</b></p> <p>(1) 独立型社会福祉士実践報告会の開催 本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照。</p> <p>(2) ジェネラルな視点を持つソーシャルワーカーの育成に向けた研修の開催 本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照。</p> <p>(3) 理論とアプローチに基づいた実践力の向上に関する研修会の開催 本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照。</p> <p>(4) e-ラーニングの普及・活用の推進 日本社会福祉士会のe-ラーニング事業にかかる本会に所属する正会員が視聴する際の費用を本会が負担し、会員に自己研鑽の機会を提供した。</p> <p><b>3. 認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進</b></p> <p>(1) 基礎研修の開催 e-ラーニング、オンラインを活用し、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを開催した。 【参加数】基礎研修Ⅰ 23名、基礎研修Ⅱ 10名、基礎研修Ⅲ 29名</p> <p>(2) 受講者の獲得 基礎研修Ⅰの受講料を2021年度以降入会者につき5000円引きで設定した。</p> <p>(3) 基礎研修に係るファシリテーター要請・育成 基礎研修修了者に協力いただき、ファシリテーターを配置した。</p> <p>(4) スーパービジョン体制の構築 スーパービジョン体制の構築に向け、バイザー登録者やバイザー経験者と</p>

<p>進</p>	<p>意見交換を行い、第2回通常理事会にて、スーパービジョン実施規程が制定され、委員会を設置した。</p> <p>1) 1回目 【開催日】4月26日【場所】オンライン【内容】SVコーディネート模擬会議、規程案の検討など【出席者数】4名</p> <p>2) 2回目 【開催日】6月14日【場所】オンライン【内容】規程案の検討、情報交換など【出席者数】スーパーバイザー登録者8名</p> <p>3) 3回目 【開催日】7月8日【場所】オンライン【内容】規程案の検討、情報交換など【出席者数】スーパーバイザー経験者9名</p> <p>(5) 認定社会福祉士の資格取得支援の推進</p> <p>1) e-ラーニング導入及びオンラインの使用 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの講義部分にe-ラーニングを導入するとともに、集合形式の内容はオンラインで実施した。</p> <p>2) スーパービジョン準備実施研修 オンライン研修のため、基礎研修Ⅱ・Ⅲの科目別受講は中止した。</p>
<p>4. 発信力の強化</p> <p>(1) 情報発信の強化</p> <p>1) 広報検討の企画チームを設置して、パンフレットの作成やホームページ、会員専用メール、会報Joy'nなど情報発信の内容などを検討。</p> <p>2) 定期的に情報発信(年5回(5月末、7月末、9月末、11月末、2月末))を行う。</p> <p>(2) 社会的認知度の向上</p> <p>1) 社会福祉士人材バンク制度の見直しの検討。 新</p>	<p>1. 広報検討の企画チームの設置 本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照。</p> <p>2. 会報Joy'nの発行 会報Joy'nを年5回(5月末、7月末、9月末、11月末、2月末)発行し、会活動の周知とともに、会員の会活動への参加促進を図った。【発行番号、発行日】①会報Joy'n第30号(5月27日発行)②会報Joy'n第31号(7月28日発行)③会報Joy'n第32号(9月29日発行)④会報Joy'n第33号(11月17日発行)⑤会報Joy'n第34号(2月21日発行)</p> <p>3. 本会会員の人材バンク登録制度 会報、ホームページや会員のしおりを通して、人材バンク登録者を募集した。【登録者数】3名</p> <p>4. 後援承諾 関係機関などからの後援申請に対して承諾することで、関係機関との連携強化及び当会の社会的認知度の向上を図った。</p> <p>第37回中四国精神保健福祉士大会山口大会(山口県精神福祉士協会)、第19回高齢者・障がい者権利擁護の集い(山口県弁護士会)、県下一斉フードパントリー2022(山口県子ども食堂・子どもの居場所ネットワーク)、第19回山口県ケアマネジメント研究大会((一社)山口県介護支援専門員協会)、第20回法と福祉のセミナー(萩・長門法律相談センター運営委員会)、令和4年度山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会(山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行員会)、第4回山口県認知症カフェサミット(公益社団法人認知症の人と家族の会山口県支部事務局)、日本ロボットリハビリテーション・ケア研究会大会(NPO 法人日本ロボットリハビリ</p>

	<p>ーション・ケア研究会)、プレシンポジウム「罪に問われた人の社会的包摂の課題と展望(山口県弁護士会)、NPO 法人とりで第6回子育て講演会(特定認定NPO 法人とりで)、令和4年度「介護の日」記念イベント((一社)山口県介護福祉士会)、山口こども応援ミーティング2022 プラス(特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク)、やまぐち遺贈寄付セミナー2022(特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク)、NPO 法人しゅうなんまちなか保健室キックオフ講演会(NPO 法人しゅうなんまちなか保健室)、日本学校ソーシャルワーク学会第17回全国大会 in 岡山</p>
<p>5. ネットワークの構築・強化</p> <p>(1) 会員相互の交流促進</p> <p>1) ネットワークリストの普及・拡大。</p> <p>2) LINE 公式アカウント及び Facebook を用いて情報発信。</p> <p>(2) 行政との連携</p> <p>1) 各種委員等へ会員を推薦する。</p> <p>(3) 山口県内のソーシャルワーカー関係団体との連携強化</p> <p>1) 年2回程度の協議会への参画。</p> <p>2) ソーシャルワーカーデーイベントを共催開催</p> <p>(4) 県内のソーシャルワーカー関係団体以外との連携</p> <p>1) 協定書に基づき、権利擁護センターばあとなあ山口と山口県弁護士会の高齢者障害者権利擁護センターとで協働事業を</p>	<p><b>1. 社会福祉士人材バンク登録制度の普及・拡大</b> 本部会報告「事業計画5の報告3」を参照。</p> <p><b>2. ネットワークリストの普及・拡大</b> 会報やホームページで周知し登録者を募集した。【登録者数】180名</p> <p><b>3. LINE 公式アカウントの開設</b> LINE 公式アカウントを開設して、情報を発信した。</p> <p><b>4. 各種委員等へ会員推薦</b> 関係機関等からの各種委員等の推薦依頼に対し、会員を推薦した。 下関市成年後見制度利用促進協議会(森清珠実,福本由美)、周防大島町成年後見支援センター運営協議会(金江浩子)、山口県障害者介護給付費等不服審査会(磯地美香)、萩市成年後見制度利用促進協議会(山田妙子)、山口市受任者調整会議(池永泰典,讃井康一、越智尚史)、DV 被害者自立支援ネットワーク山口理事(杉山美羽)、長門市成年後見制度利用促進協議会(森清珠実)、下関市自立支援協議会(石津育幸)、下関市いじめ問題再調査委員会(山中将平)、山陽小野田市成年後見制度利用促進協議会(豊嶋則子)、長門市自殺対策推進協議会(上田誠)、山口市高齢者虐待防止ネットワーク推進会議(須原志保)、周南市地域包括支援センター運営協議会及び周南市地域密着型サービス運営委員会(藤田和博)、岩国市介護認定審査会(山本秀明)、萩市成年後見制度利用促進協議会(伊藤孝司,山田妙子)、下関市高齢者保健福祉推進会議(辻中浩司)、山口県いじめ問題調査委員会(杉山美羽)、山口県福祉サービス運営適正化委員会(橘康彦)、周防大島町いじめ問題調査委員会(秋田将利)、宇部市成年後年センター受任調整会議(豊嶋則子)、平生町成年後見制度利用促進協議会(金江浩子)、社会福祉法人下関市社会福祉事業団苦情解決第三者委員会(佐藤義浩)、岩国市社協成年後見サポートセンター運営委員会(上田克典)、山口県介護保険関係団体フォーラム係員(安光正之)、岩国市高齢者保健福祉計画策定委員会(山本孝博)、下関市介護認定審査会(頃未能宏、吉村直美、道中朋子、佐藤正昭、辰川里香)、山口市介護認定審査会(木村理恵、白木篤雄、森尾憲嗣、中尾あゆみ、宮原真子、橘康彦、西依毅志、藤井哲治)、岩国市障害程度区分判定審査会(瀧山貴士、山本孝博、今田毅)、宇部市介護認定審査会(井上博子、藤井ありさ、末廣洋子、池本恭子、小田綾子、原田和夫、安光洋平、安光あゆみ、西村裕子、村谷昌洋、山本尚志、山根直子、上田桂子、判野千聖)、山口</p>

<p>行う。</p> <p>2) 四会連絡協議会への参画。</p> <p>3) 研修開催においては、積極的に後援申請を行う。</p> <p>4) 各種連絡会等への会員派遣。</p> <p>(5) 県外のソーシャルワーカー関係団体との連携</p> <p>1) 日本社会福祉士会との連携強化</p> <p>2) 中国ブロック県士会との連携強化</p>	<p>県いじめ問題調査検証委員会(梅木幹司)、和木町の権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける協議会(上田克典)、下松市介護認定審査会(望月芙美恵)、福祉サービス等調整計画検討委員会(伊藤孝司)、長門市障害支援区分認定審査会(谷井美佐子)、下関市障害者自立支援審査会(石津育幸、花貫一博、宅野浩未)下松市いじめ問題調査委員会(中村あゆみ)、山口県介護福祉士会倫理委員会(辻中浩司)、柳井市障害者自立支援認定審査会(平本康喜)、山口市受任調整会議(池永泰典、越智尚史、野原徹)、長門市地域ケア代表者会議(山田妙子)、阿武町権利擁護支援地域連携ネットワーク協議会(伊藤孝司)</p> <p><b>5. 各協議会等へ会員出席</b></p> <p>関係機関等からの会議出席依頼に対し、会員が出席した。</p> <p>山口県介護保険関係団体連絡協議会(橘康彦)、DV被害者自立支援ネットワーク山口総会(杉山美羽)、第72回社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～山口県推進委員会(橘康彦)、令和4年度山口県いじめ問題対策協議会「ネットワーク会議」(中村幸一郎)、令和4年度「やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議」(橘康彦)、「令和4年度地域生活定着支援センター協議会」(讃井康一)、令和4年度「山口県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり推進会議」(服部恭弥)、都道府県担当職員・アドバイザー向け研修(安光洋平)、家事関係機関との連絡協議会(安光洋平)、令和4年度山口県介護労働懇談会(橘康彦)、三士会、家裁、県社協及び県・阿武町の意見交換会(藤井哲治)、周南市成年後見制度利用促進連携協議会(室本好重)、宇部市障害者自立支援審査会(藤井ありさ、安光洋平、宮下紀子、橋本嘉美)、新カリキュラム導入に伴うソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱについての説明会(山中将嗣)、山口市高齢者虐待防止ネットワーク推進会議(須原志保)、災害時における福祉支援連絡会議(橘康彦)、成年後見関係団体連絡会議(安光洋平)、美祢市成年後見制度利用促進協議会(池永泰典)、令和4年度山口県成年後見制度利用促進協議会(安光洋平)、令和4年度やまぐち再犯防止推進ネットワーク協議会(讃井康一)</p> <p><b>6. 関係機関等への講師紹介</b></p> <p>関係機関等からの講師派遣依頼に対し、会員を紹介した。</p> <p>令和4年山口県要約筆記者養成講座(依頼元:山口県視聴覚障害者情報センター,紹介会員:植木伸彦,原田純子)、令和4年度高齢者虐待対応者研修会(依頼元:周南市,紹介会員:橘康彦)、人権教育学習会・人権教育研修会(依頼元:山口県立防府総合支援学校,紹介会員:磯地美香)、令和4年度総会(第2回)・管理者研修会Ⅱ(山口県デイサービスセンター協議会,紹介会員:安光洋平)、山口市民生委員・児童委員感謝状贈呈式及び委任状伝達式における講演(橘康彦)、虐待予防について(山陽小野田市,紹介会員)、虐待防止・身体拘束廃止(株)さわやか倶楽部,紹介会員:石津育幸)、虐待防止研修(山口市,紹介会員:平岡龍一郎)、2022年度独立型委員会主催「独立している社会福</p>
---	--

社士に聞いてみよう」(福岡県社会福祉士会,対応会員:越智尚史、鬼木泰子)、障害者の虐待防止に加え、権利擁護に資する支援や地域づくりの視点(講義・演習)(依頼元:山口県社会福祉協議会,対応会員:服部恭弥)、高齢者の虐待防止に加え、権利擁護に資する支援や地域づくりの視点(講義・演習)(依頼元:山口県社会福祉協議会,対応会員:橘康彦)、令和5年度山口県要約筆記者養成講座(植木伸彦、原田純子)

## 7. 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会との連携強化

### (1) 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会に参画

【開催日】6月8日【方法】オンライン【参加数】当会3名、精神保健福祉士協会3名、医療ソーシャルワーカー協会2名【内容】協定内容の協議、SWDの役割分担など

【開催日】11月11日【方法】オンライン【参加数】当会3名、精神保健福祉士協会3名、医療ソーシャルワーカー協会3名【内容】SWD企画運営、賛助会員後扱いに関する情報交換など

### (2) ソーシャルワーカーデーイベントの共催

【開催日】9月11日【形式】オンライン【担当者】本会の担当は中部ブロック(山口市・美祢市ブロック、防府市ブロック、萩市・長門市・阿武町ブロック)と山口県精神保健福祉士協会、山口県医療ソーシャルワーカー協会の県内ソーシャルワーカー団体【内容】基調講演「誰にもやさしいまちづくり～今、ここからスモールアクション～」(講師)藤本真樹/山口県社会福祉士会(特定非営利活動法人コネクト・ワン/代表)、シンポジウム「教えて!あなたのソーシャルワーク」(シンポジスト)岡村僚太/山口県社会福祉士会(社会福祉法人恩賜財団済生会/山口市中央地域包括支援センター併設ふくまる相談室)、下永友里江/山口県精神保健福祉士協会(社会福祉法人扶老会/生活支援センターふなき)、山根一希/山口県医療ソーシャルワーカー協会(医療法人神徳会/三田尻病院)、(コーディネーター)藤本真樹/山口県社会福祉士会(特定非営利活動法人コネクト・ワン/代表)

【参加数】55名(内、高校生・大学生5名)

## 8. 四会連絡協議会との連携強化

詳細は、司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備会を参照。

## 9. 日本社会福祉士会主催研修等へ受講者推薦

### (1) 第8期虐待対応専門研修～アドバイザーコース～(後期)

【参加者】吉村直美、大野慶太

### (2) 実習指導者講習会講師養成研修

【開催日】5月16日～6月19日【場所】ホテルマント【参加者】上野綾乃、内田充範

### (3) 2022年度新スーパーバイザー養成研修

【開催日】9月17日～同月18日【場所】オンライン【参加者】関東美都紀

### (4) マクロソーシャルワーク研修説明会

【開催日】7月6日【場所】オンライン【参加者】橘康彦

(5) 倫理綱領・行動規範研修講師養成研修

【開催日】12月25日【場所】オンライン【参加者】辻中浩司、梅木幹司

(6) 意思決定支援指導者養成研修

【開催日】2月17日から同月28日の5日間【場所】オンライン【参加者】安光洋平

(7) 事務局職員向け『メンタルヘルスの基礎研修』

【開催日】3月2日【場所】オンライン【参加者】河内裕子、松崎彩子

(8) 2022年度スクールソーシャルワーク実践アドバイザー研究交流集会

【開催日】3月19日【場所】オンライン【参加者】中村幸一郎、道中朋子

## 10. 日本社会福祉士会との連携・協力

(1) 都道府県社会福祉士会会長会議

【開催日】9月3日【場所】オンライン【参加者】橘康彦

(2) 権利擁護センターばあとなあとの連携

詳細は、ばあとなあ山口委員会報告を参照。

(3) 全国生涯研修委員会議

1) 1回目

【開催日】5月15日【場所】オンライン【内容】報告「事前調査の結果について」、都道府県社会福祉士会事例発表、グループワーク【出席者】吉村真

2) 2回目

【開催日】9月24日から同月25日【場所】オンライン【内容】報告「事前調査の結果について」、報告「基礎研修の運営について」、討議「生涯研修制度の見直しについて」、討議「入会促進に関する取り組みについて」、討議「基礎研修修了後の研鑽について」【出席者】吉村真

(4) アンケート調査への協力

虐待対応にかかる標準研修及び専門職チームに関する実績報告、山口市地域福祉推進協議会、基礎研修実施状況調査、成年後見制度利用促進に関する緊急アンケート調査、2022年度都道府県ばあとなあの概況に関する調査

(5) 2022年度事務局代表者会議

【開催日】2月14日【場所】オンライン【内容】事務局業務に関する情報交換【参加者】吉村真

(6) 都道府県社会福祉士会災害担当者会議

【開催日】3月12日【場所】オンライン【内容】報告「これまでの日本社会福祉士会の取り組み」と災害支援に係る法制度について、県士会からの報告、意見交換【参加者】藤本真樹、中尾あゆみ

(7) 2022年度臨時総会

【開催日】3月18日【場所】オンライン【主席者】橘康彦

## 9. 網紀案件事務委託契約

日本社会福祉士会と契約を締結した。

## 10. 中国ブロック県士会との連携

	<p>基礎研修の振替受講を調整した。          島根県社会福祉士会全国大会プロジェクトチーム会議に参画した。  <b>11.都道府県社会福祉士会との連携強化</b>          全国大会に関する情報提供を行った。(東京社会福祉士会)</p>
<p>6. 総合企画部会議の開催</p>	<p><b>1, 総合企画部会議を開催。</b></p> <p><b>(1) 1回目</b>  <b>【開催日】</b> 8月2日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【内容】</b> 今年度の企画チームによる事業遂行状況について、企画チームによる運営について、スーパービジョン実施規程案について、情報発信について、ネットワークリストの取り扱いについて、当会独自の入会促進キャンペーン及び退会抑制策について、スーパーバイズ機関の見直しについて、社会福祉士人材バンク制度の見直しについて <b>【参加者】</b> 4名</p> <p><b>(2) 2回目</b>  <b>【開催日】</b> 11月15日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【内容】</b> 業務執行理事も参画し、今年度の企画チームによる事業遂行状況について、中期計画の評価及び来年度の重点目標について、企画チームによる運営について、ブロック活動部との合同会議について(来年度、ブロック活動部に依頼したい事業など)、会員専用ページ内情報を一般公開することについて、次回総合企画部会議について協議した。 <b>【参加者】</b> 5名</p> <p><b>(3) 3回目</b>  <b>【開催日】</b> 1月10日 <b>【場所】</b> オンライン <b>【内容】</b> 今年度の企画チームによる事業遂行状況について、来年度の事業計画について、来年度の総合企画部会議について <b>【参加者】</b> 4名</p>
<p>■総括</p> <p>第一期中期計画の3年目、評価は「目標達成・ある程度成果は得られたが継続的な取組が必要」が全体の66%(昨年度52%)、「実施したが成果は得られなかった・計画したが未実施」が14%(昨年度20%)、「未計画」が20%(昨年度28%)という結果となった。昨年度に比べ、評価は良くなったものの、今後取り組むべき事業が34%あり、今後は、この部分の事業の展開が必要である。</p>	

**(5) ブロック活動部**

事業方針にもとづき、ブロック活動部は次の事業を行う。

■岩国市・和木町ブロック

○ブロック選出理事：野上明子

○ブロック長：山根茂樹

**【重点目標】**

長期化するコロナ渦で先の見通しが立たない状況が続き、活性化していたブロック活動(研修、交流会)も現在は停止している。そのことから、以前のブロック活動の形態に回復することが最大の目標であり、願いでもある。そのためには、感染予防体制に万全を期し、研修計画(集合研修・Web研修)や会員間で知恵や工夫を用い、地域への貢献活動に取り組むなど、ブロック活動

の回復に従事する。	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
<p>1. 定例会</p> <p>月の担当者を割り当て、活動内容については、その担当者に委ねる。内容については多種多様に開催する。</p> <p>・偶数月の第3金曜日開催予定</p> <p>・会場 岩国市福祉会館</p> <p>時間 19時～21時</p>	<p>1. 定例会、研修会を開催</p> <p>(1) 1回目</p> <p>【テーマ】「11-Jack」が目指すもの【開催日】6月17日(金)19:00～20:30【講師】寺本賢人氏(11=Jack/団長)【参加者数】16名(内、会員15名)</p> <p>(2) 2回目</p> <p>【テーマ】「成年後見制度」の活用と中核機関について【開催日】8月19日(金)19:00～21:00【講師】坂本正亮氏(岩国市社会福祉協議会)【参加者数】17名(内、会員14名)</p> <p>(3) 3回目</p> <p>【テーマ・講師】「いしい記念病院における地域移行支援について」松重直弘(いしい記念病院/地域医療連携室)、「いしい記念病院におけるしんせいデイ・ケア(精神科デイ・ケア)の役割と退院支援について」河邊智宏(しんせいデイ・ケア/主任)、「新生会障害福祉サービス事業所すばる(精神障害者グループホーム)について」松岡真紗美(新生会障害福祉サービス事業所すばる/サービス管理責任者)【開催日】10月21日(金)19:00～21:00【参加者数】13名(内、会員13名)</p>
2. 情報提供・情報共有	1. 岩国ブロックメーリングリストの啓発・普及活動実施 登録者90名(内、会員28名)
3. 仲間と絆を深めよう会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
4. 新入会員歓迎会&会員交流会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
<p>5. 行政や関係機関などとの連携</p> <p>必要に応じて、行政や社会福祉協議会等の関係機関、他職能団体との連携を図り、社会福祉の増進並びに社会福祉士の社会的地位向上を目指す。</p>	<p>1. 岩国市個別地域ケア会議(各1名圏域出席)</p> <p>2. いわくに住環境・福祉機器研究会(7月、10月、11月)</p> <p>3. 岩国市地域包括ケア推進協議会(8月、9月、11月、3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療部会(2月、5月)</li> <li>・日常生活圏域部会(7月、12月)</li> <li>・住まい部会(10月、11月、12月、1月)</li> <li>・認知症対策部会(12月)</li> </ul> <p>4. 介護認定審査会 4名</p> <p>5. 障害支援区分審査会 2名</p>
6. 会活動のオリエンテーション	実施なし
7. 会員数の増加 新規会員数 3名を目指し、入会促進を図る。	5月17日時点で会員数54名。 以降6名増加し、現在会員数60名。



## ■総括

コロナ禍のため、すべてオンラインで研修を実施した。集合研修を実施していた頃は、非会員の参加者も少なくなかったが、オンライン研修独特の敷居の高さがあるからか、参加者の顔ぶれが固定化してきている。研修案内を強め、参加者を増やしていくことが求められる。

## ■柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック

○ブロック選出理事：安田風明

○ブロック長：亀山雄樹

### 【重点目標】

- コロナ禍における会員同士のネットワーク強化をさらに促進する。
- ブロックの機能を強化し、地域貢献に向けた取り組みの実施を目指す。

2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
<p>1. 定例会（ブロック研修会・会議）「しゃべり BAR in サザンセット」 隔月（偶数月）の第2金曜 19時～</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「令和4年度ブロック活動計画」に基づいたテーマでの研修開催</li><li>・ソーシャルワーカーとしての悩み相談、事例検討</li><li>・必要に応じブロック会議での協議</li><li>・他の職能団体や関係機関等との連携</li></ul>	<p>1. 定例会を開催(Zoom 開催)</p> <p>(1) 1回目 【テーマ】地域の居場所作り～食・学・遊の活動を通じて～【開催日】4月8日(金) 19:00～21:00【講師】中本英宏(やないろ/代表)【参加者数】13名(内、会員11名)</p> <p>(2) 2回目 【テーマ】不登校と発達障害～心理検査を含めた心理的支援について～【開催日】6月10日(金) 19:00～21:00【講師】永富徹志(鼓ヶ浦こども医療福祉センター/公認心理師)【参加者数】17名(内、会員17名)</p> <p>(3) 3回目 【テーマ】山口県社会福祉事業団の一員として【開催日】8月12日(金) 19:00～21:00【講師】丸林稔夫(特別養護老人ホーム伊保庄園/施設長)【参加者数】14名(内、会員13名)</p> <p>(4) 4回目 【テーマ】救護施設の実際【開催日】10月14日(金) 19:00～21:00【講師】柳克久(救護施設さつきの里/施設長)【参加者数】11名(内、会員10名)</p> <p>(5) 5回目 【テーマ】引きこもり支援・発達障害・8050問題について【開催日】12月9日(金) 19:00～21:00【講師】山根俊恵(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻/教授)【参加者数】22名(内、会員18名)</p> <p>(6) 6回目 【テーマ】次期ブロック活動計画についての協議【開催日】2月10日(金) 19:00～21:00【参加者数】5名(内、当ブロック会員5名)</p>
<p>2. 情報提供・情報共有</p>	<p>1. 本会 HP の他、SNS 等を活用した連絡体制を構築し、ブロック研修会や会議等の周知を図る。</p> <p>2. 未加入者への入会呼びかけを行う。</p>
<p>3. 新入会員歓迎会</p>	<p>1. 会員交流会（懇親会）の開催</p>

&会員交流会	8月定例会後、希望者対象に実施した。 【開催日】8月12日（金）21：00～
4. 行政や関係機関などとの連携	1. 必要に応じて、行政や社会福祉協議会等の関係機関、他職能団体との連携を図り、社会福祉の増進並びに社会福祉士の社会的地位向上を目指す。
5. 会活動のオリエンテーション	1. オリエンテーションの開催 2月定例会に合わせて、オリエンテーションを実施予定。 【開催日】2月10日（金）19：00～20：30
6. 会員数の増加 新規会員数3名を目指し、入会促進を図る。	引き続き入会を促進していく。
<b>■総括</b> 今年度のブロック活動計画に基づき、予定どおり計5回の研修会、1回のブロック会議が開催できた。オンラインの操作に会員がすでに慣れ、不自由さを感じることはない。研修会に非会員の方によく参加をいただいたことが社会福祉士以外のネットワーク作りにつながったことから、地域貢献に向けた取り組みの第一歩として評価できるのではないかと感じている。次年度以降もこれを継続していきたい。	

### ■周南市・下松市・光市ブロック

- ブロック選出理事：藤本真樹
- ブロック長：白井智寛

<b>【重点目標】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者増加に向けたブロック活動の充実</li> <li>○新規会員の増加</li> <li>○多職種・他職種での連携強化と顔が見える関係づくり</li> </ul>	
2022年度事業計画	2022年度事業報告
1. ブロック会議・研修会の開催	<b>1. ブロック会議を開催</b> 【開催日】5月20日（金）18：30～20：00 【形式】オンライン 【内容】ブロック交流会 【参加者】8名 <b>2. 研修会を開催</b> <b>(1) 1回目</b> 【テーマ】グリーフサポートを理解する 【開催日】9月22日（木）18：30～20：00 【講師】京井和子（グリーンサポートやまぐち代表） 【形式】オンライン 【参加者】25名 <b>(2) 2回目</b> 【テーマ】生活保護制度についてと市役所の社会福祉士 【開催日】11月17日（木）19：00～20：30 【講師】白井智寛 【形式】オンライン 【参加者】10名 <b>(3) 3回目</b> ふくしのどようがっこう ヤングケアラーケアフル勉強会 * 特定非営利圧胴法人コネクト・ワンとの共催

	<p>【テーマ】講演・クロストーク「こんなのあったら良いな！当事者の立場から」【開催日】1月28日（土）18：30～20：00【講師】元当事者の方2名</p> <p>【形式】ハイブリッド型</p> <p>（4）4回目</p> <p>ふくしのどようがっこう ヤングケアラーケアフル勉強会</p> <p>*特定非営利圧胴法人コネクト・ワンとの共催</p> <p>【テーマ】ワークショップ「当事者の視点で必要な資源を考える！」</p> <p>【開催日】2月25日（土）18：30～20：00【形式】ハイブリッド型</p> <p>（5）5回目</p> <p>【テーマ】市と社協の連携について～生活困窮者自立支援事業（第2のセーフティネット）など【開催日】3月22日（水）19：00～20：30【講師】白井智寛【形式】オンライン【参加者】8名</p>
2. 情報提供・情報共有	<p><b>1. LINEの活用</b></p> <p>周南市・下松市・光市ブロックのグループLINE（YSW周南・下松・光ブロック）を作成。メンバー同士の交流、情報交換、各種情報提供で活用。（R5.3.31 現在23名登録）</p> <p><b>2. 県士会HPの活用</b></p> <p>ブロック活動などの情報提供実施。</p>
3. 成年後見制度の利用促進に関する取組	<p>成年後見制度利用促進に関する協議会委員として選出、研修会への参画も行った。また、ぽあとなあ山口での事業の一環として定期的な成年後見制度や生活・福祉に関する無料相談会を開催した。</p>
4. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	<p>未実施</p>
5. 行政や関係機関などとの連携	<p><b>1. 他団体との連携</b></p> <p>地域包括支援センター運営協議会委員、成年後見制度利用促進に関する協議会委員など依頼があれば会員から推薦し参画。</p>
6. 会活動のオリエンテーション	<p><b>1. オリエンテーションの開催</b></p> <p>【内容】会員のしおりの解説（会活動、e-ラーニング、生涯研修制度などの説明）【講師】吉村事務局次長【開催日】7月28日（木）19:00～20:30</p> <p>【形式】オンライン【参加者数】9名</p>
7. 会員数の増加 新規会員数13名を目指し、入会促進を図る。	<p>具体的な取り組みには至っておらず、目標は未達成。</p> <p>ブロック活動の活性化やブロックのグループLINEを活用し、継続的な新入会員の増加に繋げていきたい。</p>
<p>■総括</p> <p>オリエンテーションを通じ、各種意見交換が行えただけでなく、会員同士の交流の場としても活用できた。その他、会員講師によるミニ研修会を始め外部講師を招いた研修会、他団体との共催による研修会も開催できた。しかしながら、新規入会者は目標値まで届かず、ブロック活動の参加者は依然として少ない現状にある。新規入会者やより多くのブロック会員の参加が見込めるよう、グループLINE当を活用し、情報発信と魅力あるブロック活動の展開を目指していく。</p>	

■**山口市・美祿市ブロック**

○ブロック選出理事：尾中未来

○ブロック長：野原徹

○副ブロック長：大枝康祐

【重点目標】

- 研修参加を通して会員としての意識を高める。
- 会員同士のネットワークを作り、顔の見える関係づくりを目指す。
- ネットワークを活かし、制度の狭間の問題に対して取り組む。

2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 研修会の実施	<p><b>1. 研修会を実施</b></p> <p><b>(1) 1 回目</b>  <b>【テーマ】</b>「福祉インフォーマル」～ふくしビジネス起業家の思い～<b>【報告者】</b>松林祐輝（やまぐちケアサポート）,川端洋祐（C&amp;C 山口）,横山修一氏（山口老人ホーム紹介センター）<b>【進行】</b>渡邊靖志（東亜大学医療学部&amp;マイスタイル）<b>【開催日】</b>6月21日（火）19:00～20:30 <b>【場所】</b>オンライン<b>【参加者数】</b>23名</p> <p><b>(2) 2 回目</b>  <b>【テーマ】</b>お仕事紹介<b>【報告者】</b>杉山美羽（NPO 法人せわやきネットワーク）、上口優衣（社会福祉法人南風荘 セルプときわ生活介護）<b>【開催日】</b>10月25日（火）19:00～20:30 <b>【場所】</b>オンライン<b>【参加者数】</b>12名</p> <p><b>(3) 3 回目</b>  <b>【テーマ】</b>“学び”の化学反応・広がる輪<b>【講師】</b>池田新（山口自主夜間中学代表）,八木明歩（山口自主夜間中学副代表）<b>【進行】</b>渡邊靖志（東亜大学医療学部&amp;マイスタイル）<b>【開催日】</b>1月26日（木）19:00～20:30 <b>【場所】</b>オンライン<b>【参加者数】</b>19名</p> <p><b>(2) 4 回目</b>  <b>【テーマ】</b>お仕事紹介<b>【報告者】</b>多田基哉（山口県福祉総合相談支援センター児童相談部）、村岡沙和乃（グループホーム湯田あいおい苑）<b>【開催日】</b>2月28日（火）19:00～20:30 <b>【場所】</b>オンライン<b>【参加者数】</b>13名</p>
2. 情報提供・情報共有	介護認定審査会委員募集の広報
3. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	コロナ禍のため見合わせ中止
4. 行政や関係機関などとの連携	介護認定審査会委員の選定
5. 会活動のオリエンテーション	開催できず

6. 会員数の増加 新規会員数 10 名を 目指し、入会促進を 図る。	ブロック研修会を実施することで会員同士の繋がりは出来てきた。未加入者や新規加入者へはその都度加入の言葉かけをしている状況。
9. ソーシャルワー カーデーin やまぐ ちの開催	1. 担当ブロックとして企画運営を担う。 総合企画部報告「事業計画6-報告5-(3)」を参照。
<b>■総括</b> 2022 年度は 6 月、1 月に防府ブロックと合同で研修会を行い、10 月、2 月に会員のお仕事紹介を実施した。会員からの持ち込み企画も頂き、研修の幅が広がった。研修内容の充実から年々会員の参加者も増えている。ライングループに現在 43 名の方が登録されており、アナウンスがしやすくなった。今年度の充実した内容を次年度にも継続していきたい。	

### ■防府市ブロック

- ブロック選出理事：越智尚史
- ブロック長：瀧口コヅエ

<b>【重点目標】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未加入者を勧誘して新しい会員を増やす。</li> <li>○ 「多職種」・「他職種」連携が図れるような仕組みを作る。</li> <li>○ 社会福祉士会会員同士のネットワークを作る。</li> </ul>	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 4 か月に 1 回、勉強 会及び情報交換会	<b>1. 研修会を実施</b> <b>(1) 1 回目</b> <b>【テーマ】</b> 『福祉インフォーマル』～ふくしビジネス起業家の思い～ <b>【報告者】</b> 松林祐輝(やまぐちケアサポート),川端洋祐(C&C 山口), 横山修一氏(山口老人ホーム紹介センター) <b>【進行】</b> 渡邊靖志(東亜 大学医療学部&マイスタイル) <b>【開催日】</b> 6月21日(火)19:00~20:30 <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加者数】</b> 23名 <b>(2) 2 回目</b> <b>【テーマ】</b> 「独立後の歩み」～今後独立を目指す方へ～ <b>【講師】</b> 池永泰 典 社会福祉士 <b>【開催日】</b> 7月22日(金)18:30~20:30 <b>【場所】</b> ハイブ リット形式 <b>【参加者数】</b> 10名 <b>(3) 3 回目</b> <b>【テーマ】</b> 「フリーランス社会福祉士の赤裸々な事実～どんな質問にも 答えます～」 <b>【講師】</b> 岩金俊充 社会福祉士 <b>【開催日】</b> 10月14日(金) 18:30~20:30 <b>【場所】</b> ハイブリット形式 <b>【参加者数】</b> 7名 <b>(4) 4 回目</b> <b>【テーマ】</b> 「”学び”の化学反応・広がる輪～山口県初・山口自主夜間中 学～」 <b>【講師】</b> 池田新(山口自主夜間中学代表)・八木明歩(同副代表) <b>【開催日】</b> 1月26日(木)19:00~20:30 <b>【形式】</b> オンライン <b>【参加者数】</b>

	19名
2. 他団体と合同で研修会を開催する。	<b>1 防府薬剤師会と合同研修会を実施。</b> (1) 1回目 【テーマ】「コーチングとは？」【講師】上野和禎 社会福祉士【開催日】12月2日(金)【形式】オンライン【参加者】12名
3. 情報提供・情報共有	LINE グループを活用して情報提供を行っている。
4. 親睦会	新型コロナが落ち着かないため開催していない。
5. 新入会員歓迎会&会員交流会	新型コロナが落ち着かないため開催していない。
6. 行政や関係機関などとの連携	<b>1. 他団体との連携</b> 地域包括支援センター運営協議会委員、成年後見制度利用促進に関する協議会委員など依頼があれば会員から推薦し参画。
7. 会活動のオリエンテーション	検討中
8. 会員数の増加 新規会員数 2 名を目指し、入会促進を図る。	ブロック研修会等を開催することで会員同士の繋がりを持ち、新規会員を勧誘していきたいが、対面での研修がなかなか実施できていないため、会員数増加の実現に到っていない。
9. ソーシャルワーカーデー in やまぐちの開催	<b>1. 担当ブロックとして企画運営を担う。</b> 総合企画部報告「事業計画6-報告5-(3)」を参照。
<b>■総括</b> 2月に他団体との合同研修を企画していましたが、講師を予定していた防府市役所職員が業務繁忙のため実施できずに終わってしまった。来年度、未実施となった企画を実現する予定です。今年度は山口市との合同研修も行い、内容的には充実したものとなったと感じるが、ブロック会員の更なる参加を促していきたい。次年度は、会員の増員が図れるよう、声掛けを行いたい。	

### ■宇部市ブロック

- ブロック選出理事：長岡佐都子
- ブロック長：安光洋平
- 11月末ブロック会員数：60名

<b>【重点目標】</b>	
○ 会員間の相互のつながりの強化 ○ 会員数の増加 ○ 会員が参加したいと思える研修の開催	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 定例会	1. 研修会を開催 【日時】2月12日 10:00~12:00【形式】オンライン【内容】EAP(従業員支援プログラム)研修会
2. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	未実施

3. 行政や関係機関などとの連携	特になし
4. 会活動のオリエンテーション	未実施
5. 会員数の増加 新規会員数 3 名を目指し、入会促進を図る。	未実施
<b>■総括</b> 研修会を1度実施したのみで、ブロック活動を行えなかった、次年度は交流会を含めて調整していきたい。	

### ■山陽小野田市ブロック

○ブロック選出理事：山高正義

○ブロック長名：若松勇輔

<b>【重点目標】</b> ○ ブロック会員のネットワークづくり ○ ブロック会員による他機関とのつながりを強化 ○ 社会福祉士として活躍場を広げるためのスキルアップ研修会の実施	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 研修会の開催	<b>1. 研修会の開催</b> <b>【テーマ】</b> LINE 機能の活用 <b>【開催日】</b> 1月14日(土) 10:00~11:30 <b>【場所】</b> 中央福祉センター <b>【参加者数】</b> 5名
2. 会員同士の連携強化	<b>1. ブロック会議</b> <b>【テーマ】</b> 自己紹介、情報交換会 <b>【開催日】</b> 10月15日(土) 10:00~11:30 <b>【場所】</b> ハイブリット型 <b>【参加者数】</b> 6名
3. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	未実施
4. 行政や関係機関などとの連携	未実施
5. 会活動オリエンテーションの開催	未実施
6. 会員数の増加 新規会員数 3 名を目指し、入会促進を図る。	未実施
<b>■総括</b> 今年は会員同士の情報共有を進めていくための仕組みづくりを行った。来年度は、オープンチャットを活用して会員同士の交流を活性化していきたい。	

■萩市・長門市・阿武町ブロック

○ブロック選出理事：中村幸一郎

○ブロック長名：松田友也

○3月末ブロック会員数：52名

<p><b>【重点目標】</b></p> <p>○ 会員の興味のある研修会や親睦会の開催により、ブロック活動への参加人数を増やす。</p> <p>○ メーリングリストで情報を発信していく。</p>	
2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 情報提供・情報共有	<p><b>1. 情報共有、情報発信</b></p> <p>メーリングリストについては継続して整備している。</p> <p>グループLINE も情報交換のため活用しており、若干ではあるがグループの人数が増えている。</p>
2. 年2回研修会を開催する	<p><b>1. 研修会の開催</b></p> <p><b>(1) 1回目</b></p> <p>【テーマ】 障害者生活支援センター(基幹相談支援センター)の役割について 【講師】 金子貴子 (ほっとすペーす/管理者) 【開催日】 6月9日 (木) 19:00~20:00 【場所】 オンライン 【参加者】 15名</p> <p><b>(2) 2回目</b></p> <p>【テーマ】 権利擁護支援センターについて 【講師】 藤井哲治 (萩権利擁護支援センター) 【開催日】 2月22日 (水) 19:00~20:30 【場所】 オンライン 【参加者】 10名</p>
3. 社会福祉士についての紹介	中止。
4. 会員同士の親睦を深める機会	新型コロナウイルスの感染が収束せず、親睦会等は開催できていない。
5. 新入会員歓迎会&会員交流会	親睦会と同様である。新規会員についてはグループラインや研修会の場面を利用して紹介、顔合わせの機会を設けている。
6. 行政や関係機関などとの連携	関係機関と連携しての研修会を企画している。
7. 会活動のオリエンテーション	【開催日】 12月6日(火)18:30~19:30 【場所】 オンライン 【参加者】 7名
8. 会員数の増加 新規会員数5名を目指し、入会促進を図る。	新規入会員4名、退会者1名。
9. ソーシャルワーカーデーin やまぐちの開催	<p><b>1. 担当ブロックとして企画運営を担う。</b></p> <p>総合企画部報告「事業計画6-報告5-(3)」を参照。</p>
<p>■総括</p> <p>ブロック研修を中心に年間活動を行った。オンラインではあったが、会員間の交流や情報交換の場</p>	



になったのではないだろうか。また、会員からの声かけを行う事で新規入会、ブロックのグループLINE参加者も少しずつではあるが増員している。

■下関市ブロック

○ブロック選出理事：吉村直美

○ブロック長名：佐藤義浩

○幹事名：執行部 榊田智寛（副ブロック長）

石塚忠志 花貫一博、田中英之、小川清子 朝原博順

○会計名：事務局（事務担当及び会計担当を執行部から選出する）

【重点目標】

- 複雑且つ多様な社会環境の変化にともない、変化する福祉課題について把握していく。
- 勉強会を通じて、関係機関・団体等と交流をはかり、地域のネットワークの環境整備をする。
- 定例勉強会、ミニ座談会、福祉啓蒙活動を通じて、会員同士のつながりを図る。また、新規加入者の掘り起こしをする。
- 県事務局のホームページを活用して、各活動の案内等の周知を図る。

2022 年度事業計画	2022 年度事業報告
1. 研修会の実施	<p><b>1. 研修会の開催</b></p> <p>(1) 1回目 【内容】『医療観察制度について』講師：内田陽祐（法務省/山口保護観察所/社会復帰調整官）【開催日】9月9日（金）19：00～20：30【形式】オンライン【参加者数】18名（内、会員18名）</p> <p>(2) 2回目 【内容】『暮らし応援サービス～身元引受人サービス等について～』講師：丹田俊幸（ケアサービスたんでん管理者）【開催日時】12月9日（金）【形式】オンライン【参加者】20名（内、会員20名）</p> <p>(3) 3回目 【内容】『じねんじょの歩みと在宅の重症心身障害児（者）や家族の現状と課題』講師：石塚忠志（社会福祉法人じねんじょ）【開催日時】令和5年2月24日【形式】オンライン【参加者】9名（内、会員9名）</p>
2. 年1回の事例検討会の実施	未実施。（事例検討の代わりに研修を実施）
3. 年1回の施設見学の実施	コロナ感染防止を鑑み、中止
4. 「馬関祭り愛の広場」への参加予定	社会福祉士の認知度をあげていくために、「馬関祭り愛の広場」への参加は、8月5日金曜日に執行部で検討した結果、コロナが落ち着く様子がないため、不参加としました。
5. 他団体との合同研修会	中止
6. 新人歓迎会&会員交流会	中止

7. 行政や関係機関 などとの連携	未計画
8. 会活動のオリ エンテーション	<p>1. オリエンテーションの開催 【内容】会員のしおりの解説（会活動、e-ラーニング、生涯研修制度などの説明）、令和4年度ブロック活動について【開催日】6月28日（火）19:00～20:30【形式】オンライン【参加者数】9名</p> <p>2. 令和5年度ブロック活動予定について 【内容】【開催日】令和5年3月15日（水）19:00～20:30【形式】オンライン【参加者数】7名</p>
9. 会員数の増加 新規会員数14名を 目指し、入会促進を 図る。	下関ブロック活動をとおり、当会入会促進を図る。
<p>■総括</p> <p>・今年度も新型コロナコロナ感染拡大により、下関ブロックの活動を一部中止せざるおえない状況となった。新規会員も目標数達成のため、声掛けをしてみたが、新規入会は2名にとどまっています。今後は感染防止に努めつつ、会員同士での顔の見えるつながりや知識向上に向けて取り組んでいきたい。</p>	